

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1－10）、MOX燃料加工施設（1－10）」

2. 日時：令和3年2月17日（水） 13時30分～16時40分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査専門職、森野安全審査専門職

日本原燃(株)

大久保 理事 再処理事業部副事業部長 他22名

中部電力(株) 原子燃料サイクル部 副長

関西電力(株) 原燃計画グループ 担当

九州電力(株) 原子力発電本部 原子燃料サイクルグループ 副長

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

「設工認に係る資料提出及びヒアリングスケジュール」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000069.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX燃料加工施設の設計及び工事の計画

の変更の認可申請を受理」

[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000124.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html)

- ・ 令和3年2月2日  
「日本原燃(株)再処理施設、MOX施設及び濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和3年2月9日  
「日本原燃(株)再処理施設、MOX施設及び濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	原子力規制庁のベース、それでは日本原燃の設定について。
0:00:10	いや、
0:00:13	本日のヒアリングは録音して公開するため、発言の際には所属と名前を明らかにした上で発言する。
0:00:21	また開示情報発言した場合は、当該箇所を特定しているように、
0:00:29	出席者ですけれども、規制庁香川、
0:00:33	ツガネ。
0:00:37	キシノハバサキ
0:00:39	カミデ建て替え心配及び殴ら
0:00:42	あとはハセガワ関連はする。
0:00:47	はい。
0:00:48	日本原燃の出席者の紹介を
0:00:53	日本原燃富樫でございます。本日の日本原燃の出席といたしましては、土建分といたしまして、洞道関係といたしまして、ムラカミ、ミヤモトウノ
0:01:03	ムラタ、あと建物の耐震関係といたしましてトガシウラバヤシ、フジワラスガワラ、オガセ、タカハシヤマグチからまたMOX事業部の方からタカマツ、タニグチ石原イトウアボ
0:01:20	その下の方が出席しております。
0:01:24	出席者といたしました表でございます。
0:01:27	規制庁におかれまして、まず本日ヒアリングの場でほぼ提示されてますけども、そういう育ちまして、今週の月曜日2月14日、
0:01:39	審査会合がありまして、その場で日本原燃株式会社は、今後の設工認の申請内容について説明をしているんだね。
0:01:49	合理的な説明をするということで説明のロジックの整理、また内部での検討を行った上で説明をするということになっておりましたので、本当。
0:02:01	に対し、どのようなことが実施される。
0:02:05	規定基準とか、まず、
0:02:15	日本原燃大久保でございます。
0:02:19	審査会合で、本ロジックを作って御説明するということを御説明2日以降で御説明いたします。ちょっとすみません社内方法非構造入りましたのでちょっと一般1回中断させていただきます。
0:02:52	失礼しました。再開いたします。
0:02:55	基本ロジックを作って

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:59	どういうロジックで説明していくのか、ましょロジックを説明するにあたって必要な設計根拠、或いは設計なエビデンスとデータ等ですね、補足説明資料で御提出させていただくということを会合の場で、こちらから、
0:03:15	御説明申し上げております。
0:03:18	そのロジックにつきましては、
0:03:22	し、こちらから説明する上で、何をどう説明しようかというところが、今までの補足説明資料を説明する上で、ちょっとわかりにくい点もございましたので、シンプルな形で箇条書きで、
0:03:37	が1枚でまとめるということで取り組んでいるところでございます。
0:03:43	本日御説明する6件の資料につきましては、いわゆる設計のエビデンスといえますか設計コンペに当たるようなものと耐震計算書に対して、その設計のデータになるようなものということで、
0:03:58	今日は後程今日の補足説明資料はどういった目的でつくっているかということとは御説明させていただきますけれども、本日の説明に関しては、本ロジックというものを今回私共としては、
0:04:17	目にまとめて
0:04:20	KLabとの説明ができるのかなということで、
0:04:24	考えておりました。今後明日以降ですねヒアリングをさせていく中で、共同実行説明して合理的に説明できるというようなものについてご説明させていただきたいと思っています。すいません。はい。
0:04:40	規制庁間で今の説明だと紙はつくっていないんだけど、きちんと検討しているというような説明を受けたので、そうであれば当然かみ合わなかったので口頭できちんと
0:04:55	資料のという説明をすとか、
0:05:01	まず口頭で説明してください。
0:05:04	はい、承知しました。説明します。
0:05:07	日本円トガシでございます。まず初めに建物耐震の2週といたしまして、労働の設工認の申請上における取り扱いについてこちらの資料でございますけども、こちらのほうにつきましてはこれまで実施してきさせていただいておりますヒアリングの中におきまして道道につきまして、
0:05:26	取り扱いのほうがもし露頭比べまして、遠くなっているというところがございました故障モードと異なっているという点につきましては、炉につきましては屋外重要土木構造物直下という形のほうで同じカルバート構造のものにつきましては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:44	こちらのほうの屋外重要土木構造物というような形のほうで整備されているものになってございます。これに対しまして当社といたしましてはどうかについては建物構築物という形の方で事業許可申請書におきまして、整理のほうをさせていただいてございます。
0:05:59	本日といたしましてはこちらの事業許可を踏まえた段階におけるその当社として労働の方を屋外重要土木構造物ではなくて建物構築物として整理している理由及びその評価にあたってはどのような形のほうで今設計のほう対応しているのかといったところにつきまして、
0:06:17	いま一度当社の考え方のほうを整理させていただきましたので、こちらのほうの中身について御説明させていただくといったところが、まず初めのほうの資料の
0:06:27	位置付けというところでございます。本日ご説明していると説明させていただきたい事項というところでございます。
0:06:34	②番目のほうの建物の耐震の 21 億増え長笠川です。
0:06:40	はい。
0:06:41	規制庁、古作です。すいません。今説明されたのは単純資料もこんなものを作ってます。説明だけであって、今カミデ気がしたのは、そうではなくて、
0:06:54	この論点についてどういうロジックで考えていて、
0:07:00	説明できるまで整理ができると思ってるのかっていうことを言ったんだと思っただけなんですけど、カミデ山荘理解
0:07:10	はい、カミデデータをこの機会に
0:07:14	規制庁コサクです。そうだとすると、お答えの趣旨がずれているので、それ以外の案件についても同じように説明されてる時間の無駄なんですね。
0:07:26	なので、まずはどうについて。
0:07:31	今言ったのか、論点としてどう整理がされていて、
0:07:35	それに基づいて何が目が必要と思ったのかと。
0:07:38	ようなことについて改めて
0:07:42	前紙つくれてないというのであれば、それに相当する内容を口頭でさせていただきます。
0:07:52	日本原燃の村田でございます。と同様の申請上の取り扱いについてということで、先行の発電炉ですと屋外重要土木構造物といったものがあるのに対して、弊社については同構造図等を構築して堂々としているという体制につきましては、
0:08:08	洞道かま既設工認におきまして、建物構築物の中の一つとして申請をしているかと、一部の道道につきましては、それ自体に耐震クラスを有しているもの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	がございますので、そういった観点からどうにつきましては構築建物構築物のうちの構築等々というふうに整理をしております。
0:08:26	実際の設計に当たりますは、どう労働の構造的特徴といったところが、JABですとか工認審査ガイド、そういったところの屋外重要土木構造物と同等の特徴を有しておりますので、潜航発電炉の屋外重要土木構造物と同様の設計手法によって、
0:08:45	耐震評価を実施しているっていうものでございます。説明は以上でございます。
0:09:03	それと関係する
0:09:05	先ほどの差説明だと建物構築物として、ぜひずっと言ってるような発言もあったと思うんですけど、今の御説明の際は、構築して積極的に行って
0:09:21	その点話が繋がってないように思います。それ以前に聞きたかったことは配合においてね、きちっと教育してきて、それを中で確認した上で説明をします。
0:09:38	いうことは訳していただいたんだと思いますけど、その取り組みの状況について、まず説明をいただきたい。
0:09:56	日本のトガシでございます。ロジックの整理といったところで、この各資料に対しまして、当社としましてどういう形のところで、資料構成だと論理的で先ほどの資料を説明するに当たって当社としての考え方、論理展開の交付整理をするといったところ、
0:10:16	これは基本的に介護の方でお約束させていただいた事項というふうに認識しております。
0:10:21	それに対しまして労働関係のPHITS公認上の取り扱いというところに対しましては、まず、もともとのFとなるところが事業許可条件の整備といったところ、
0:10:34	があるというふうに考えております。こちらの方に対しまして当社のほうでという評価を策定するに当たって建物等々に関して、建物構築物という形のほうで定義しているといったところのその位置付けといったところを
0:10:52	こちらのほうの
0:10:55	耐震重要度分類の位置付けとですね手出し合わせた形のところで整理をさせていただいたといったところがまず1点目でございます。こちらのほうとあわせまして実際の方のその設計を行っていくに当たって準拠する参考とする。
0:11:12	設計の手順、手続きにつきましては、同じ
0:11:17	ボックスカルバート構造でございます。奥が15項目、そういったところが、のほうで設工認ガイドとしても提携されているといったところがございますので、こちらのほうの設計の位置付けに合わせた形のほうで今設計の内容確認といったところを実施しているというところがございますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:35	ですので一応コサクです。はい。
0:11:38	規制庁、古作です。すいません。また
0:11:41	そういったことと違うことを永遠としゃべられている。
0:11:46	少し、何を聞かれたかを認識しながら、スタートしてもらえませんか。
0:11:52	聞いたのが、
0:11:54	なんでロジックが身を作っていないんですか。
0:11:58	ということですよ。
0:12:00	それについての取り組みについて本件等考えたかっていうことで、内容について聞いてません。
0:12:09	いかがですか。
0:12:23	日本演奏してございます。
0:12:25	こちらのほうのそのロジックペーパー
0:12:29	つくり込むといったところに対して、
0:12:35	またその社内的にすべてのものがどこまでこのロジックペーパーとして起こすのかといったところの線引っていったところが、まだあの会合がありました。
0:12:45	次のヒアリングというところもございまして、なかなかまだ定義されていないところっていうのが実情だというふうに考えてございます。当社の今の現状認識としましてはこの間決算口頭な調整させていただいております地盤モデルであったり、液状化。
0:13:05	及び側面地盤ばねといったものにつきましては、当社も含めまして論点の事項という形の工程でとらえているものになってございますが、こちらのほうの論点のものにつきましてはやはりしっかりと当社のこのロジックといったところを明確に
0:13:22	ご提示していくといったところが重要だというふうに認識してございます。
0:13:29	その中で当社としまして、今各条文がございましてでも検討するものがございましてような中でトガシたんですけど。
0:13:38	そういう条件についてはさ、ロジック。
0:13:43	じゃあえっというのがよく理解してるっていうところは、
0:13:47	でもいいけど、淡路ちゃんとして、
0:13:51	話かみ合っていないんですよ。
0:13:53	だから、こういうのを聞いてやらないといけないということが、
0:13:59	自分たちで超過ベース私もその線でお聞きしてて、それ以外ですね、結構文化部とかモデル化とかいったところについて論点がない中で作る必要はないと思ってるんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:13	少なくともどうぞについてはどういう位置付けなのか、これまでヒアリングで何回か指摘をされていて、それについての回答がうまくできていないという状態のものなので、
0:14:25	ちゃんと考え方を整理しないと、だらだらと説明されたのは、
0:14:30	結局、解決に繋がるような保育が絞れないってことだと思っていますんで、今回の資料もマイク少なくてある程度これを絞っていけば論点ペーパーになるような気がするんですけど。
0:14:44	書いている内容がことごとく足りないところがあると思ってまして、ここはどこかっというのを、原燃でちゃんと認識するっていうことを整理するためにパリではどうかという話になったんだと理解しています。
0:14:59	以上です。
0:15:05	はい。補えるトガシございます。
0:15:08	おっしゃる趣旨のところは理解いたしました別の
0:15:13	こういった労働のような位置付けのページといったところが必要なものにつきましては当社といたしましてもロジックのほうに図を御用意できていて申し訳なかったんですけども、こういった位置付けのものについては、
0:15:27	これはいいけど政治問題じゃないか。
0:15:33	だからそういう思考回路になっちゃうんだよ。
0:15:37	従って、単なる分類の契約の話なんですみたいに話がどんどんすれ違ってたっていないの。
0:15:49	だから、問題の 500 ミリ側すぎる。
0:15:57	だから、そういうことで、
0:16:01	具体的話に入る前に我々3 ページでないっていうことで、そういうことをやってくれて言ってる。
0:16:08	だから、この内容で大体わかったんだけど、多様なねやる間で気が付いたと。
0:16:21	だから、現場であって発達していくことによって、SCがこれがあるとかいう出せとかってやってるカワモト風向といった一括や
0:16:34	だから、月次やったらいい。
0:16:41	自分たちの考えてると解説にまとめる時期とても重要なことは、
0:16:46	その考え方が、我々ベストかどうか、全体的にわかるんですね、燃取つき合わせる自体の容易性、具体的な話に入っていたかかないと限定合理性が高くなっちゃう。
0:17:01	ウラバヤシばかり聞かされちゃうとね。
0:17:08	はい。
0:17:09	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:16	安全上のトガシでございます。
0:17:19	御趣旨は理解いたしました。
0:17:29	ちょっと名前を挙げていって、
0:17:31	日本にトガシでございます。
0:17:34	ちょっと我々のほうでですね一同了解。
0:17:38	はい、はい。いえ。
0:17:41	規制庁、日本のトガシでございます。すみません規制庁カミデと資料についてロジック番組を作らなくてもいいというような判断をしたのはどうなったかということは、今言っているんですね、お答えをお願いします。
0:18:05	はい。
0:18:07	日本原燃の久保でございます。中身の確認につきましてはオオクボが窓兼務と話をして
0:18:16	この件についてはロジックでは、作らなくてもよいと思って判断しました。その根拠は、今日の資料の間違いだと。
0:18:27	はい。
0:18:32	YKT、
0:18:35	ですから、当然、皆さん結構できないんだよといったお話にもなんですよ。
0:18:50	4 ページがないかという御指摘だということだというぐらいにしてくださいまして、結果について、何をもって、
0:19:01	どうぞ。
0:19:08	この辺のところでございます。
0:19:11	合理的に進めるためにGOTHICペーパーを作って御説明させていただくように、
0:19:16	また、そういったところで、どこで行った。
0:19:20	それでいいんだっていう
0:19:22	年目の方でございます。等の今、
0:19:29	同等の設工認申請上の取り扱いについてという資料の英国ページ目に、
0:19:36	設工認労働の設工認、
0:19:39	編成途上の取り扱いということを記載しております。と畜ペーパーを作るとしても、ここに書いてあるようなことを整理するのかなと私のほうで思いましたので、
0:19:52	ここで説明できるのかなと思います。前段の話はありますけれども、
0:19:57	はい。私のほうではそういうふうに判断したということで、
0:20:02	しっかりやってください。
0:20:10	二つ目、なお、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:17	例えばタジリで懷ね、この説明すればいいと思っていたって感じべきだったかというふうに理解している。
0:20:27	はい。
0:20:36	わかってないかったチェックできない。
0:20:42	何をしないといけないかって言って横形我々の多種違っちゃってるわけです。
0:20:57	例えばそのための戦略をまとめるとやる前にまとめる。
0:21:08	はい。
0:21:11	はい。
0:21:12	はい。
0:21:28	規制庁コサクです。カミデさん申し訳ないんだけど。
0:21:31	前年はそもそもこの問題が何いい問題なのか行かなくて、
0:21:39	おそらくっていうと、金融稼動にだから何が悪いんですかっていう感覚になってるんじゃない。
0:21:47	前面の対応として私が理解
0:21:51	認可だったりウエスしなくていいか成功同じだから説明しなくていいと思っているような記載が、
0:21:58	いろんな資料に書かれて、
0:22:01	そうではなくて、既認可であろうが、先行と同じだろうが、
0:22:06	それぞれ、設計の妥当性っていうのを補足説明資料、同じように含めて、
0:22:12	今回の申請として適切なものを
0:22:15	時すると。
0:22:17	いうことが必要だと。
0:22:19	うん。
0:22:21	論点になるものはこれをよりちゃんと整理をして説明することの説明が体系的になってるかをロジック以下を提示して事前に原燃として漏れがないことといった、
0:22:35	というようなことかなと思って。うん。
0:22:38	どうお考えで、
0:22:42	第 2、
0:22:46	そもそもこの問題が何かっていうことの意味ができた後にならないと思ってんを、
0:22:52	改めて、
0:22:54	こちらから指摘してもらえますか。
0:23:02	はい。セットですね。
0:23:05	まず王道を

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:10	建物基本設計方針においては、日本原電コンセプトございます。どうぞっていう名前が基本的に当ててもらって説明を受けたと、建物構築物の中に入っています。
0:23:25	いう説明があったり、
0:23:28	それに対して我々審査においては、本審査ガイドを参照してみると、建物構築物ほかに土木構築物というものを確認事項。
0:23:41	これはどちらに照らしてみるかという話があるので、それでまずどうぞも位置付け、
0:23:51	そして表情のこういう設計をするのか。
0:23:54	いうことについて確認をしているものとしてはもうこの
0:24:00	出てきて、
0:24:02	いうことなんですけども。
0:24:04	まず
0:24:07	ある程度、今回の資料であり、いるんですけど、3部分的な内容になってますので、こういう観点でいうと、公認審査ガイドの建物構築物の確認事項をもっと土木構築物に対する確認事項。
0:24:24	一旦並べていただいてですね、その差分について、日本原燃の
0:24:31	どうぞはどちらで設計するか、また銅像としても、今日の資料にも若干書いてありますけど、
0:24:41	Sクラスの持って、
0:24:43	いうものがそういうものについてはやはり建物構築物に設定するべきではないという考えもあるので、その辺のそういう重要度に応じて、どういう設計をするのか。
0:24:58	というのをきちんと説明いただきたいというのが私の確認を注視し、
0:25:07	日本原燃の宮本です。すいません。いろいろまとめてお話いただきましてありがとうございます。今回の資料2をちょっと載せてないんですけど、放り審査ガイド等、あと、今回の道道例の適合状況というのをですね、こちらのほうでも、
0:25:23	チェックしておりますんで、ちょっと今度出すときにですね退避した形で補足資料出したいと思っております。ありがとうございました。
0:25:37	規制庁の古作です。
0:25:39	今のリケンの説明、問題意識の説明というところに加えてなんですけど。
0:25:49	をもって整理をしようとする、そもそも何でFクラスそのものとしてくださいと言ってるんだとかっていうところですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:58	結局ロジック枚紙の話にも繋がってくるんですけど、上流として何を要求というか、
0:26:05	それを機能としてね。
0:26:08	この要求に対してどういう枠で復旧することが必要。
0:26:13	いうところで流れていかないと、どの部分をどれを適用するのが適切かっていうのがわからないので、
0:26:20	そういうのを体系的にまとめていただいて、
0:26:24	はい。
0:26:25	ありがとうございます。はい、日本原燃の宮本です。ありがとうございます。そんな形でまとめさせていただきます。基本的にですね、地震により発生の可能性のある安全機能の喪失とか、放射性への影響防止するっていう観点で、
0:26:42	Sクラス 2 クラスと設定してるような指摘もありますし、ノンクラスのものも堂々にはあるんで、そこら辺もうちょっと体系的に区別しながら御説明させていただきます。
0:26:54	規制庁の名倉です。
0:26:57	私も今、コサクの方からそちらのほうに整理して欲しいといった内容っていうのは私もこれ必要だと考えていて、
0:27:08	それでは
0:27:09	ちゃんと整理していただきたいのは労働には幾つかのタイプがあって、耐震クラス上はSとPというふうに分かれているんですけど。
0:27:19	これは建設工認当時さかのぼって見た場合に、太いてるものが、そうなのか、なのかっていうこともあるんですけども、
0:27:30	一体どのような機能が求められている部位があって、それがどの範囲に分布しているのか。
0:27:38	その機能とは一体何なのか。
0:27:41	対漏えい液体としての対漏えい機能なのか、それともFLACS維持という観点での競うとしての漏えい防止という機能も含められているのか、それとも間接支持だけの機能が認められているのか。
0:27:58	そういったものを求められている機能に関して部位をちゃんと整理をして、
0:28:05	その機能を担保する構造がどのような構造になっているのか、ライダーとか内張りとかがあってそれが対漏えい機能ってスタンプしてあって、それに対して構造健全性を確保することによって、
0:28:22	一体となって機能を確保する躯体があるのかないかとか、
0:28:27	そういうふうなところの求められる機能と耐震クラス、それからどういう性能が必要になる部分なのかというところをちゃんと整理をした上で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:40	それがまず第1にあって、それを整理したら、今回は建物構築物、
0:28:49	Sクラスの部分は建物構築物としますと言ったんだけど、
0:28:53	設計体系は土木の設計だけ使ってるんですね。
0:28:57	ということをご案内の中で、建物構築物と位置づけるのであればもう建物構築物の設計体系を使わざるを得なくなるので、
0:29:07	そういう意味では、土木の設計体系を使うのであれば、少なくとも間接支持構造物の部分は、屋外重要土木構造物の設計を参考に設計体験を適用できますという説明になるし、
0:29:23	Sクラスの部分に対しては、じゃあ、土木屋外重要土木構造物の性能照査体系を使うも使っている事実があるのであれば、そういうふうにするという方針を決めてるのであれば、
0:29:38	どういうふうに妥当な安全余裕の妥当なという部分を説明するのかを苦渋の屋外重要土木構造物のクライテリアそのまま使えないからどういうふうに区別するのか。
0:29:50	だからそういうところが実際生じると思いますので、そういったことをPro実行ちゃんと成立すると、事前に
0:30:00	工認の基本設計方針で何をどこへ
0:30:03	どこで何を述べるのか。
0:30:06	基本方針と機能維持の基本方針のところはどういうふうにそれが体系的に落ちていくのかということがある事項ちゃんと成立する場所に落ちる。
0:30:17	ということになるので、
0:30:19	そういう意味で、まず今お客さんが言ったような整理私が言ったような整理をした上でどういう設計体系を使うのか。
0:30:29	設計のクライテリアはどうすべきなのかというところをロジックを整理してください。
0:30:37	赤い4とかミヤモトです。理解できました要求性能、あとそれに基づいているのがどういうものがどういう要求性能があるとか、それに対して、例えば間接支持構造ZoneクラスをS可能間接支持構造物やったら、
0:30:55	屋外重要土木構造物が使えるよとか、Sクラスだったら、
0:31:01	大分余裕もさといった形ですね、ちょっと整理したいと思いますので。
0:31:07	よろしくお願いします。
0:31:14	今まであの特重の話なんであまり具体的なことは言えませんが。
0:31:21	60で居住性が求められる部分に対して、屋外重要土木構造物の設計体系適用しようとして適用困難であることがわかって建物構築物の設計に

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:35	体系を全部切り換えたという実例もありますので、建物構築物という位置付けにするのであれば、それは建築の設計体系を使いなさいということになってしまいます。
0:31:50	だから、そのところは、じゃあ置き換え 16 構造物としての設計体系を使うとしたらどこにチューニングが必要なのか。
0:31:59	ということをよく考えてやってください。
0:32:04	これが今後議論の中心になっています。
0:32:09	でその議論をちゃんとするためには、最初の整理が非常に重要。
0:32:14	これをちゃんとやってください。
0:32:19	理解でわかりました。わかりました。日本原燃の三浦です。わかりました。そのように整理させていただきます。
0:32:34	はい。規制庁カミデです。最初に介護分繋がりで議論を始めたところ、幾つか今工房申し上げさせて事業名としては、
0:32:50	では 3 年 2 月 9 日に提出された耐震とつても、
0:32:54	29 資料で同等の設工認申請上の取り扱いについて、
0:32:59	いうものに今話をしているんですけども、この資料について規制庁側からほかにはよろしいですかね。
0:33:10	なければ次にですね、耐震と組むの 21 番の説明を受けたいと思いますので、資料の提出資料名加工事業者で紹介していただいて、
0:33:28	資料の量子というかですね、説明のポイントなんじゃないかということを中心に紹介してください。
0:33:43	はい。日本原燃の阿保でございます。資料としましては資料番号耐震建物 21。
0:33:50	資料名称としては設工認に関わる補足説明資料MOX燃料加工建屋に関わる駅に係る変更点についてと
0:33:59	輸出量になります。
0:34:02	こちらの資料につきましては、MOX燃料加工建屋に確保でき認可建屋設計が既認可からといった点に変更したかというものを整理したものになりましてその変更点につきまして、
0:34:16	地震の解析モデル、そういったところはどういう。
0:34:20	跨ぎ変更加えたかといったところの説明する内容となっております。
0:34:27	それでは 1 ページのほう、資料 1 ページになりますけれども、こちらで
0:34:33	主な
0:34:34	資料 3 ページですみません、通し番号 3 ページです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:38	こちらでMOX燃料加工建屋にかかるに係る変更点ということでイノウエすみません、設置許可ベースの資料の中身の説明は結構でこの点は我々は資料4ですから、
0:34:53	先ほどの議論を踏まえていただいでですね、要点的なものをロジ的なものです。
0:35:02	こういうところなんですけど、説明を簡潔にさせていただきたいんですけど、いかがでしょうか。
0:35:18	はい、日本原燃の阿保でございます。
0:35:21	建家の主な変更というところで、排気塔の位置変更開拓の変更縦の当初はこういった内容がございますけれども、こちらにつきまして、実際の耐震モデルのほうにも反映していたと。
0:35:35	いうところが出資となります。
0:35:45	設計監理S波のモデルを変更しましたというだけの資料ということですか。
0:35:54	はい。
0:36:11	すみません、日本原燃の鮫島でございます。両方資料につきましてははですけどもまた石井からスタートという流量まずあの建物の設計がどう変わったかと、以前、えっとですね、建物の解析モデル等について御説明させていただいた際に、そもそも今回変更認可申請になりますのでキリンから、
0:36:29	このような部分といったものの設計が変わったかというところの説明が必要というコメントもいただきましたのでそちらも踏まえまして、まず建屋のほうでどのような変更をしているかというようなことを本資料論点として、説明する人になって別紙のほうにつきましては、それを結果。
0:36:45	解析モデルのほうにどのような影響があったかというようなことを付帯して、
0:36:50	おります。
0:36:51	そうですね、お客さんということだけど、まずお話しはくさ伝統的についてっていう設定したりってことはいっぱいある。
0:37:04	はい。
0:37:07	今まで書いてある凡例といった含めて、例えば人っていうのをね。
0:37:15	一つは、
0:37:20	／ねって言っちゃってるということで、
0:37:27	裁判で、それで了解しましたっていうことで、今までこういうことを言っていたところで適用した部分という問題が生じたものであったということをしてました辺りからこれが紙で
0:37:45	そうすると、このぐらいの説明ですので、今日は説明したいとなった。
0:37:52	会話として何を得たいんですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:59	現在としては、先ほど説明して終わるたモデルがいいか悪いとか、対応したいんですが、
0:38:13	ここまで対応したいんです。
0:38:15	はい。
0:38:16	自治体っていうのもいい。
0:38:22	そうするとさこんな資料でわかんねとか、形だけです。
0:38:32	本日の資料としては、日本原燃の鮫島でございます。本日の資料として、
0:38:38	資料なんかどうでもいいからキョウダにしたい。
0:38:42	事実関係絵本設計変更のずれ関係をした上で、事実関係も設計変更に伴って変更した解析モデルのたとえと妥当性が適切であるというところの説明を行いたいというふうに考えてございます。
0:38:59	そこまでしていただくという御説明でした。どうい
0:39:06	そういう言葉でできるので。
0:39:10	これは相当だろうと。
0:39:16	調べておくべき取り入れ、
0:39:24	オオクボがそういうチェック者の
0:39:29	日本原燃大久保でございます。この資料につきましては変更点の事実関係
0:39:34	が中心だという認識をしておりました。それに伴って、解析モデルの変更にしなければならぬというところについて、こういうふうになるんだという認識でしたので、
0:39:49	すみません。妥当性を説明するというところの起点がすみません私のほうでかけておりました。
0:39:56	1点です。
0:40:05	はい。
0:40:18	すみません少々お待ちくださいねなんてないという
0:40:28	はい。
0:40:31	はい。
0:40:33	はい。
0:40:35	ただし、
0:40:42	それで、
0:40:52	日本原燃大久保でございます。今ほどちょっと担当者と確認しましたが、変更点の説明をするためにこの資料作ったということでございました。
0:41:02	申し訳ございません。
0:41:03	説明が難しい。
0:41:07	説明の練習したのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:41:13	ハセガワ支部しょうがないじゃん。
0:41:17	あとは駄目だとちゃんと去年受けた影響でここまでです。
0:41:22	だからという。
0:41:31	HRAカミデをしてさとかをやってるんだよ。
0:41:43	いや、
0:41:53	を修正してツアー。
0:41:56	お願いします。
0:41:59	されてない。
0:42:03	日本原燃の鮫島でございますのでとおっしゃる通りでございますので本日の資料につきましては事実関係のみ説明するような資料となっておりますので、資料についても改めて見直して、先ほどご説明の方させていただきたいと思えます。
0:42:18	規制庁続くです。すいません。ちょっとよくわかんなくなっただけです。
0:42:23	この資料でどこまで説明するつもりなのか。
0:42:27	変更点の妥当性まで説明するということであり、変更っていうのは、事実関係だけだと言ったり、
0:42:35	その上で、学生も説明できるようにしますって見たり、
0:42:39	第1、それぞれの説明資料がどういう位置付けのものなのかっていうのが毎回及びですね。
0:42:47	そういうのが嫌だから、資料の体系を示して、それぞれのこの部分また説明的なのか明確にしてくださいっていうのは、申請されたときからずっと申し上げているんですけど。
0:43:01	本件の資料は資料リスト見てもってこいものってないんですよ。
0:43:10	なので、
0:43:11	そういう検討がオオクボさんができてないんじゃないかと思うんですよね。
0:43:15	できてないから。
0:43:17	この資料と含まれてもできないし、
0:43:20	そのまま何となく言われたままになっちゃうっていうことのような気がするんですけど。
0:43:27	私の誤解ですか。
0:43:29	整理されてるのはどういうふうに教えてください。
0:43:45	日本で紹介する。こちらの資料といたしましては
0:43:51	五つの資料の資料の位置付けとしましては資料の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:57	スケジュールの頑張りますし、一番ございます。MOX燃料こません。はい、規制庁コサクです。はい、図表は説明資料を配布していない。絶対ありません。
0:44:20	申し訳ございません。
0:44:31	規制庁の長屋です。
0:44:34	まず構造変更しているということで今回は、構造変更の概要を説明してもらったんですが、
0:44:43	この
0:44:44	どう変更の目的がそもそもある伝票という類の増築とかどうせつくれたか移動に係る部分が入ってる。そういう意味では非常に
0:44:59	ただ単に間接支持構造物を少し補強しましたっていうものではないので、
0:45:05	そういう意味では説明資料は、ちゃんと独立したものとして、どういうふうな安全機能を有する部位の改造をしたのか。
0:45:17	ということをちゃんと説明した上で間接支持構造物病院については、それに伴い、このような平衡しましたこの詳細はこういう内容です。
0:45:29	これに伴って地震応答解析モデルを既工認から変更しました変更点はないないです。
0:45:37	モデル化の考え方も一部変えました。それについては既工認の考え方から、これを踏まえました。その結果としてこういうふうなモデルの3ページになりました。これがF妥当性の設計の三つなり、
0:45:53	だからその限定部分でどれぐらい対応いじったのか。
0:45:58	こういう言葉をまず概要説明って来て必要です。
0:46:03	その説明として今回の説明は、
0:46:06	偏っていないかというか、
0:46:08	これはよく考えていただきたいというふうに思います。
0:46:11	従来軽微な為替支持構造物の補強であれば、これは地震応答解析送って資料の中で、モデルの変更になったところにぶら下がる資料で説明資料が整理できるんだけど。
0:46:26	今回は安全機能に係る部分、
0:46:30	構造変更があるんであれば、それはちゃんと独立した設計資料になるんではないか、それは、耐震のところに入れるのか、それともそれ以外の部分に入ってくるのか、それについては、
0:46:47	少しどこにセーフティかっていうのをよく考えなきゃいけないのかなと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:52	こういった全体の補足説明集の構成の中でどういうふうに仕込み一波というところについては、基本設計方針とか、それから基本方針との関係で決まってくるので、そういった全体体系を見ながら、
0:47:08	どういうふうに思って爾見ほかどういうすべきやっぱということを考えていく必要があるんでそれをちゃんとやっていただければ自然に、
0:47:17	あの申請書に落ちると思います。
0:47:20	そういう意味で、どういう説明をしたらいいのかということをお原燃の中でよく考えていただきたいと思います。
0:47:30	以上です。
0:47:35	規制庁コサクです。名倉さんありがとうございました。
0:47:38	スケジュール表持っているわけですね、今の資料は、基本方針に入っているのか訂正説明している場所ってないんです。
0:47:48	はい。
0:47:49	なので、そこまでやるとしている説明だった時代で皆さん資料構成めちゃくちゃだっということでもわかるんですよ。
0:47:58	はい。
0:48:03	そういうところを、
0:48:05	まず整理しないって、
0:48:07	しっかり問題だ。
0:48:10	出て来るって。
0:48:13	ちゃんと
0:48:15	でも資料でどこまで説明をしているとのヒアリング等でここまでいってやりたいのか。
0:48:21	いうことを整理してから、
0:48:24	又吉です。
0:48:30	日本原電の鮫島でございます。打っていただいたポイント。
0:48:35	一方踏まえまして、提示させていただきましても、本資料につきましては耐震に確かに改定しないような設計変更建物のほうでしているとその結果でモデルが変わっているという部分もございましたので、ちょっと前半の部分につきましては全体の説明、その辺もちょっとここで説明するのかと。
0:48:54	いうところも踏まえて御説明資料も一つにまとめるのか、きちんと中身に合わせて二つに分割して説明させていただくのかということも改めて考えさせていただいて再度御説明させていただきたいと考えております。
0:49:14	規制庁カミデです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:18	そういった形で再整理が必要ではあるんですが、資料自体は提出を受けても、基本的に事実関係はされているというような資料、こちらは受け取っておりまして、その中で事実確認の説明としても説明が不足している。
0:49:36	というような箇所があるのでその点規制庁バーのピッチから幾つかこういう視点も含めるべきという指摘があれば発言をお願いします。
0:49:47	規制庁キシノです。
0:49:50	それから、ちょっと興味資料ですけども、一つずつMOX加工建屋びっくり金庫以降転記しておりまして、今回その後方店舗国会で要らないですよ。
0:50:07	このMOXの加工建屋に工程としては、重量航空機壁や床位置付けにしたっていうこと施行という一つかと認識してましてですね、これについては1月のヒアリングの中で重要区域について要件機能ですとか、耐震クラスとか、
0:50:25	結構ちゃんと整理して説明してくださいねというコメントを出しておりますので、それに対する回答、説明が今日のこのチームのことをされるものかなと思っていたんですけど、特段説明がないようなんですが、14ページに
0:50:42	コンクリ説明というのは、
0:50:44	どこでやられる程度いただきます。
0:50:58	日本原燃の鮫島でございます。まず本資料につきましては確かに時認可からの変更点ということなんですけれども、重要区域の定義自体はですねと金融機関のまえがき許可ですね機器とかの方から区域としては、いずれの構築というものを
0:51:13	設定しましたので、変更点としては本資料逃げ得てございませんでした。1月にヒアリングでコメントいただいているかというその重要区域の範囲だったり、低耐震クラスであったり、要求される機能といったところにつきましては、申し訳ございません、こちらにつきましては
0:51:29	現状、整理はしているものの、補足説明資料として、こちらの辺りちょっと見える形になってございませんでしたので、そちらにつきましてはちょっと別途、
0:51:42	別の本資料とは別の資料で御説明させていただきたいというふうに考えてございます。
0:51:51	規制庁の土野です。本当見通し予定についてはまた別途スケジュールここで説明があると理解しています。
0:52:01	ちょっとスケジュールのほう、
0:52:04	日本原燃の鮫島でございます。はい、ちょっとスケジュールのほうにしっかり反映した上で別途説明させていただきたいと考えております。
0:52:13	キシノです。その際にですねちょっと説明において留意していただきたいという、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:19	いっぱいと思います。まずですね、溶接理解
0:52:25	もうちょっと
0:52:26	うん。
0:52:28	そうするとによって裕度があって、
0:52:31	それを見せることによって重力高校生している。
0:52:36	というような構造のアルコール操作については、そういう趣旨ですね、ヒアリングの中で、
0:52:43	説明が追加されました。その後の説明で、
0:52:47	ちょっとするコードについてですかというふうに位置付け目的なんですかと聞いたところは、水の信用クラウドで理解すれば、私の説明がありました。それで、ちょっといただきたいのは、
0:53:04	この重要区域、それと20、27っていう部分についても含めてですね、こちら
0:53:14	も、
0:53:14	要求機能、
0:53:17	資料も、
0:53:21	その構造の詳細、それとそれを設計にどう反映させるかっていう設計思想、これについてもあわせてきちんと説明していただきたいということです。
0:53:32	もっと具体的に言いますとに対するバッファーとしてどう位置付けているということなんですけれども、とすると。
0:53:39	そこも行動の部分は別の資料を許さないということで、
0:53:45	上の道路が重要ですから、閉じ込め機能を期待するという説明だったと思いますが、
0:53:51	閉じ込め機能別に対する金融も直線上の設定になっているのかといったこともありますし、当炉心注水のためする単なる高度なのかというのは終わっているのか。
0:54:04	或いは施行というのをできてくれとなった。
0:54:08	どういった状態になっているといった構造の詳細報告等確認作業でございますし、そもそもループという目的で設定していて、
0:54:21	うん。
0:54:22	本に対する帰ってそういったものに対しては、今後したのか、ほかの建屋、今後の方向性でここ送るときも遠くに思えるんともあるかと思います。
0:54:34	そういったことも含めて検討地震応答解析モデルでは、この部分させたといったことをちょっといま思いつくものが羅列しましたけれども、
0:54:44	本当はきちんと説明できるように、
0:54:49	整備していただいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:50	次回、説明をしていただきたいと思います。よろしいですか。
0:55:01	はい。今いっぱいと日本原燃の鮫島でございます。今いただいたコメントだけでなく全体といった部分も含めてきちんと整理をした上で、設計に度合いしたかななどについてですね、説明させていただきたいというふうに考えてございます。
0:55:17	規制庁コサクです、すみません
0:55:20	先ほどの話と同じなんです。
0:55:23	本件について、どう説明資料作っていくつもりですかって言って、さらに言うと、
0:55:29	申請書で、
0:55:32	援助したりしてないと思うところを通して必要があると思うかという、その前のヒアリングでも完成形を目指して、
0:55:43	一つ一つ潰し込みをしていかないと、またヒアリングある程度
0:55:48	すべて持っている。
0:55:53	今の話って結構広範なもののような形で 20 床に対する設計の考慮とか、1 枚つくられます。
0:56:02	また、技術的な説明にしてもらわないとしている形。
0:56:08	なんかどんどん発散していくようなヒアリングする形になる。
0:56:13	おそらくですけど。
0:56:15	どう進めるつもりですか。
0:56:22	日本原燃の鮫島でございます。
0:56:25	確かに現在いただいたコメントここで説明しようとしても金かかるの建屋の変更点という意味ではかなり広範囲に広がる部分がございますので、この場ですべて 5 立方ペーパーをしますという回答が難しいですけれども、まずはやはり一番前段の部分について、
0:56:42	来認可から建屋の変更点耐震に限らず、こういった安全機能に関わる場所間接費だけでなく、
0:56:50	全体一般的に関わる部分でどういう変更したのかというところを整理した上でその液化
0:56:57	例えば耐震の解析モデルについては、こういった部分に影響があって、どんなふうに込め考えてきていたのかというところを整理し説明する必要がある
0:57:11	あるというふうに考えてございます。
0:57:13	規制庁コサクです。内容と説明する必要があるところがあって、
0:57:19	これ整理として、
0:57:21	どうまとめてそれを普通。
0:57:24	ヒアリングについてするか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:27	申請書の中で、
0:57:30	明確にしていくか。
0:57:33	いうその作業。
0:57:35	明治、
0:57:36	負担ですよ。
0:57:38	それですね、耐震設計体制強化については、それぞれのプロセスであって、それぞれごとに資料をつくられていると思ってまして。
0:57:51	実績をまとめて一つの資料をつくらう問題、それこそ説明資料一式になっちゃう。
0:57:58	そうですね。
0:58:00	なので、毎月並べなめるシステムっていうのは、個別説明書で示してありますっていうことになります。
0:58:10	そういう説明の全体体系をよく認識して、
0:58:15	この部分で説明すべきかというのを考えないと、先ほどから議論があったところで、
0:58:22	いつ何をやっていくかっていうところもあったものについてやらないので。
0:58:26	今できないということは、
0:58:29	ようやく考えている形の資料作りがどういうものなのか。
0:58:35	いうのは、電力の人勉強してですね。
0:58:40	改めて指摘していただければと思います。以上です。
0:58:47	日本原燃の鮫島でございます。商企ましたこちら一番、補足説明資料としては確かに小さいキョウダしておりますけれどもこの資料で銅の部分を説明してというところが、
0:59:00	勉強不足という部分もございますので、そこにつきましては、改めて整備して御説明させていただきたいと考えております。
0:59:17	規制庁ハバサキですけど、今ほど来資料の位置付けているかという以前の話もあったんですが、ちょっと、あくまでも今この資料はほぼ満杯なんですけれども、この資料。
0:59:32	建家の構造の平行とそれから中央区画分の、
0:59:38	ちょっと書いてもらってスタートポイントがあります。
0:59:43	まずですね、当資料みたいな構成が6ページまで、これミヤモトの注意情報があって、7ページ目以降はこういう形で変わりましたよ。
0:59:58	という結果が正しいできるだけですので、
1:00:02	何とも今まで言ってきましたけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:06	これ結果がどういうプロセスでこの結果、例えば 20、本資料の 14 ページ以降にですね、評価と今回工認の
1:00:21	前回と今回の重要度判定の講師資格の通知が繰り返されてるんですけども。
1:00:30	例えば大きく変わったところはどういう理由で、それは引き続き検討流の下の
1:00:38	凡例のところに書いてあるんじゃないかと言われてるってことではわからないが、先ほど来お話関係ですけれども、どういうことを踏まえてこうなりますということがわかるような資料、
1:00:52	面白いと思うんですね、そういった情報が見当たらないんで。
1:00:58	非常に
1:01:00	もうこれ以上進展のしようがないわけで、ちょっとそこら辺を注意してもらいたいです。
1:01:07	それに相当するもので説明をする上でですけれども、
1:01:13	例えばIPO層まで増え鉄塔部基を時距離
1:01:20	ポリヤとってたんで、今回、
1:01:24	では、この領域は耐震要素になりますという情報で可視化ツール等も含めてですね。
1:01:33	やはり変更点だということになってるとしても情報をもう少し丁寧な詳細な情報まで含めてわかりやすい形で残ってるだけっていうのが、沸騰が 8 億
1:01:47	で、
1:01:48	あとですね、三番目としましては、
1:01:51	大きな変更点が 3 ページに書かれてるんですが、
1:01:56	例えば構造に関して費用と書いても、音海区分けでアプリよろしいでしょうか。例えば、あれの増額をしてるよとか、一応されてるんだとか、
1:02:06	そういった点はないという理解でよろしいでしょうか。ではでしょうか。
1:02:17	原電の鮫島でございます。あと一つ目と二つ上のイトウ今の資料については、kAプロセス、どういう考えでやったかというところがないという御指摘につきましては、こちらにいらっしやれ等詳細な記載を追加し、どういう白にするかという点はもちろんありますけれども、
1:02:34	資料にそのような詳細の情報を追加するということで対応させていただきたいと考えております。三つ目の質問に関してですけれども、こちらにつきましては治療の通し番号の 3 ページで主な変更点を以下に示すと冒頭 1 ぽつの下に、
1:02:49	ちょっと書かさせていただいてるんですけども、戸籍やりましたように壁の位置や様、例えば壁の開口部、扉の背弧部の方が少し変わっているとか、そういった部分は主な変更点というふうにはとらえていませんでしたのでこちらには、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:03:06	記載してございませんでしたが、変更としてはありますので、ここに書いた 123 だけがすべての変更というふうになってございませんというのが回答になります。
1:03:19	タマザキです。
1:03:21	そこら辺も積極的に整理をして名をして、その費用と書いてあるものがあるのか。
1:03:31	そう判断遅れてるっていう理解を得ないというふうに考えます。
1:03:37	いかがでしょうかね原燃の鮫島です。承知しました。ご指摘いただいた点踏まえて、資料のほうの修正と説明のほうをさせて今後させていただきたいと考えてございます。
1:03:52	規制庁川崎です。私のほうから、この資料に関しては以上になります。
1:04:01	規制庁紙ベースで他にステップオーバーからありますか。
1:04:06	そう。
1:04:11	なければですね、本件は次の資料耐震建物附属ですかね。資料の紹介と、あと 50 という。
1:04:20	位置付けのものという説明を簡単をお願いします。
1:04:27	はい。
1:04:30	いよぎんのトガシでございます。
1:04:32	資料番号といたしましては、建物の耐震の 09 で地震応答解析におけます耐震機器のせん断スケルトンカーブの設定。
1:04:40	あ、ごめんなさい。
1:04:41	すいません提出済みといたしましては、2 月 2 日でございます。
1:04:46	こちらのほう、資料の位置付けといたしましては、施行に経産省の方に置きまして、耐震駅のせん断スケルトンのほうのアウトプットといたしまして、各港におけますせん断スケルトンの
1:05:01	永代条例点及びた図案の記載のほうのさしていただいております。当然こちらのほうの核種けれども設定するに当たりましては、各東りの株につきまして、鉄筋比であったり実行力とこういったところの情報に基づきまして、
1:05:16	手助けの方法を設定して参りますので、こちらのほうのエビデンスという位置付けのもとで、こちらのほうの資料のほうは準備させていただいております。説明は以上でございます。
1:05:29	根部です。この資料は、そのロジックで妥当性云々っていうよりは、予算書のことです。
1:05:40	しますけれども、規制庁のほうからもこの内容についてのコメントがあると。
1:05:51	規制庁浜崎です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:54	これは実刑をどうでもよく資料等への出資の資料が出てますんでそれだってなかなか資料というふうに理解しております。ただですね、2点ほどちょっと指摘で福島
1:06:09	今大きく仮定に関しては、8ページに
1:06:15	モデルが出てますけれども、ポウ7台、7番。
1:06:21	要するにですね、これに関しては、ちょうど20人スラブと24日の間ぐらいなんですけれども、これに関しては、まあ線形として扱っているというふうに資料ないんですけど。
1:06:38	で、争点は、この資料の中でも、その後はほぼ7番の資料、議題はこういう考えで、そういうやっぱり視点という記載な評価と思うんですが、答弁は全然レベルをどう考えてますでしょうか。
1:07:00	日本原燃キョウダでございます。おっしゃいます通り予算が7番につきましては、24日の追加壁部分となっております、気相部弁に準ずるような支部の部分でございますので、今回のせん断スケルトンもっと徹底してございません。
1:07:16	資料中にこの次のような記載をしておりませんでしたので、今後地域の方させていただきたいと思っております。
1:07:25	新沢です。仕事解析モデル解析を方針条項でもってサブと思うんですけれども、一応この資料の中でも本店7番の資料何番の部材に関しての情報。
1:07:41	の記載を何故かと言いました。それあの検討してください。それともう1点、資料の294ページにICが入ってくる形になってますけれども、
1:07:57	新しいレイアウトが出てますので、
1:08:00	やっぱそういうのを秒間の資料の13ページにいつちゃうんですけども、
1:08:07	これ基礎スラブから立ち上がって対し話だ。
1:08:11	はい。
1:08:14	先週の説明があったんですね、20番の説明の資料、
1:08:20	文章で非常に海進時の排フォロアップファイル増えて変わってますので、これは水1だけば、どういう方向が生きるっていう等で変わってくるんだと思うんですけれども、このモデルで、
1:08:39	そこら辺、今、間違ってるか、或いは共有している一方、地域レベルによって変わってるのかわからないので、
1:08:50	ちょっとそこら辺、ちょっと資料通してですね、違ってるのは、その解釈、違ってる理由を書くなり。
1:08:59	あと本当1月ぐらいからやってみた上で言うと、経済をしていただきたいというふうに思いますでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:09	日本原燃のスガワラです。ご指摘の通りですね海溝の考え方などで棟基礎スラブのほうに立ち上げてるモデルのですね、壁の位置、Eとの債は出ておりますので、そこの辺りの考え方というところを
1:09:29	追記のほうさせていただきたいと思います。
1:09:33	ちゃわないですか、この資料に関して私は行わない。
1:09:39	はい。
1:09:43	規制庁、上出です。やっぱり規制庁変わったらわかりますでしょうか。
1:09:50	規制庁の武田です。私から1点だけなんですけれど、この企業に限らずなんですけど、
1:09:59	医局の設定の根拠だとかっていうだとか、その妥当性っていうのはやっぱり明記していただきたいっていう話になるんですけれど、たとえとしますと、もうテープ6ページ。
1:10:12	いうことで、
1:10:14	前の5ページ目で終局の設定っていうのが記載されているんですけれど。
1:10:22	ここで、
1:10:26	会うⅢですかね、またツリーの設定があって、
1:10:30	6ページ目で、ただし書きで、
1:10:33	資格についてこちら弾力は、思っ関係あるんですけれど、これだけ見ると、なぜ、
1:10:41	これだけこうしているのか、それが妥当なのか、そういったものが読めないの で、そういったところは、
1:10:48	ちゃんと明確にするようお願いしたいということになります。
1:10:55	日本原燃、キョウダでございます。承知しましたと記載内容について少し詳細に地域したいと思います。
1:11:06	規制庁タケダです。お願いします。この資料に限らずですね、推計低下をお願いします。
1:11:17	規制庁関係です。
1:11:19	また、私の方から資料の構成の構成について少し確認をいただきたい。
1:11:27	したいんですけど。
1:11:28	この資料は実行する三つのところが、基本的な考え方が示されて3ポツのところ、次回の説明結果という形になっております。
1:11:44	一方まだ説明受けていないですけども、次の耐震建物の15%以上と最初のほうに共通的な販売パターンで各施設のピックアップは別紙につけて、
1:12:02	というようなベースでなってますので、
1:12:05	こういうように、各施設個別の結果をつけなきゃいけないし、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:11	ものについては、私たちは 15 番の構成のほうがわかりやすいということで、原燃として、今統一がとれてないってどういうふうにしようとする。
1:12:29	成功SASTIKで考え方を教えていただきます。
1:12:42	原電の藤原でございます。すいません。先ほど御指摘いただきました通り資料構成としては、補足説明資料のホームページに共通的な考え方を求めまして、各家庭の結果のこの過程につきましては後程資料 15 と同じように別紙という形で、
1:13:00	パッケージングしていくようなイメージで行為として資料を構成していきたいと考えております。
1:13:06	以上です。
1:13:07	規制庁カミデです。わかりました。あと/F、例えばこの通していた 3 ページ目のこの部分の記載も、まだ統一がとれなくて、こちらの
1:13:21	指摘している事故としてはですね、申請全体を説明を施設全体を示すというので。最初にもっとスパン行政手続きというもので宣言されるべき話であったのまた書きで、以下の添付書類の作成するものである。
1:13:41	これについては各部タケダですけど、今のパツパツと第 1 回先生についてのみの説明というように見えてしまうので、位置付けとしては、まず基本的な全体の方針です。
1:13:58	いう上で、ちなみに第 1 回申請の計算手法弊社計算書類関係では黒っぽい計算書の作成になりますというような形でちょっと対応復旧していただきたい。
1:14:14	共通的に失敗いたします。
1:14:19	表現の保証でございます。承知いたしました。冒頭の書き出しのところでも適用範囲と位置付けの書き方につきましては、共通の方ですね、明確に期待したいと思います。あと、この本資料につきましては、提出時期がですね。
1:14:35	先週でして体温適用範囲を明確にすることという指摘事項ができておりませんでした。本日までに 1 回も可能でしたので、次回以降は気をつけたいと思います。以上です。
1:14:47	顕著です。わかりました。いっぺん懸念なんですけど今耐震建物ナンバリングし済みで層厚は今言った違いはあるとしてもある程度統一っていうんですけど、また綺麗側のほうの説明資料をちょっとカワモト冒頭の書き方が違う。
1:15:05	いうのがこれ作成されている部署が違うのかなというふうに思いますんですけど、その辺りも連携をとって、
1:15:14	同じようにご出席を記載するようにお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:19	はい、承知いたしました。おっしゃる通り部署の違いで記載も微妙な違いがございますのでそのあたりが会社として統一したいと思います。以上です。
1:15:27	規制庁ヶ月かかります。
1:15:31	なければですね、表裏分配して1時間以上経過しておりますので、別表で定めていただいて、
1:15:42	拝承永住工事から始めたいと思いますけど、原燃でしょうか。
1:15:49	はい、行目でした。
1:15:51	それでは一変します。
1:15:58	規制庁カミデそれでは、引き続き経営再建計画の15番の費用の紹介と簡単ないっても、説明をお願いします。
1:16:12	排気を移動してございます。資料番号といたしました建物耐震建物を15番、経費といたしましては、2月9日、
1:16:20	回答といたしまして応力解析におけますモデル化境界条件及び高速条件の考え方でございます。こちらの資料の位置付けといたしましては、建物の解析におきまして、有限要素法FEMモデルを解析中で用いております。今回の申請でいきますと、
1:16:36	も仮定できますしてるわけで、あと例を冷却塔の1におきましても、極力こちらの方に対しまして、FEMモデルのほうを作成してございます。本州といたしまして保護者の方のFEMモデルにおけますモデル化の考え方、境界条件及び高速証券後者のほうを主に求めたといったところで、
1:16:55	この部分の補足説明という形のほうで資料のほうでまとめさせていただいているものでございます。
1:17:00	説明は以上でございます。
1:17:06	ちょっとカミデ
1:17:08	説明のポイントというか、
1:17:11	妥当性の説明的なものは必要はない。
1:17:21	本件のタカハシです。こちらの資料につきましては、
1:17:25	あくまでそこを得るようなものを作業しているかということになりましたので、今おっしゃられた妥当性というところについては現状のけております。
1:17:37	ちょっととか、そこまでのつもりなのかどうかという話をやると、あと資料としては、名称分割みたいなのは、
1:17:50	意見に従って適切にやっているのが妥当ですというような説明にしているのかなと思ったんですけど、本店、もう一度整理しております。
1:18:03	日本エヌガスでございます。御説明いたします。基本的に本気度といたしましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:11	今ほどございました基礎スラブにつきまして要素分割及びこういったものについて、当社としましてどのような考え方に基づいてモデル化のほうを実施しているのかといったところをまとめているものでございます。フォード位置付けといたしまして4分割につきましては既往の文献等を参考にいたしまして、
1:18:30	要素分割の考え方としまして、PHITSとともに、各境界条件につきましても上部の報告条件等を考慮した。
1:18:40	位置付けとして、報告状況を取り入れるとともに、スラブの事務局トガシにつきましては、フジクラまでを用いた既往の文献等で用いているやり方を用いて実施しているといったところで、我々のほうとしての評価の妥当性といったところも基本的として主要軸ありがとうございます。
1:18:59	えっとですね、ちょっと4ページのところで確認したいんですけど、処理方法の分布について、先生方の技術報告説明資料なんですね。
1:19:12	アセットについてはいっぱい3ページ。
1:19:16	どう専攻では重要な部分については1.2ぐらいっていう、無職ますような話も同じような
1:19:28	うん。
1:19:29	兵働さん。
1:19:32	これ、
1:19:37	本件のタカハシせる限定と今の御質問に対してお答えいたします。評価対象部位のコンテンツ、当面し分解してまして、アスペクト比可能な限り、やはりイトウ使えば好ましいということで、前近づけるように、
1:19:54	上載分割しております。ただ、やはりモデルの形状上、1.2でも御指摘いただいた上で分割数で難しいところもありましてそういったところをちょっと載せても1.3程度までを目安としております。以上です。
1:20:12	規制とかで、
1:20:15	そうなるって言うとおると考えますとわかるような形なので、そのテント構成を報告をするような説明。
1:20:27	THAI3でも問題になるというところは、
1:20:32	評価しようと考えます。
1:20:39	日本原燃高橋です。かしこまりました想定について説明を補強したいと思います。
1:20:45	どうぞ。
1:20:46	イトウの上で資料の構成は先ほど、
1:20:53	ここで方向性としては、本文番の考え方。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:59	まず書類を利用してどうこう申請を全体を見通して、建物構築物とこのようなあとはそういったぐらいしかなくなってないんだと思いますけど、これでせるところで、
1:21:17	そこはカバーできてるということで、
1:21:23	本件のタカハシ制度お答えいたします。50回申請含めて、せようと梁要素をメインで作業しております。梁要素につきまして、こちら
1:21:36	具体的には取らせようと思えと含めて入れております。それと予算に関しまして、今回の申請では採用してございません。以上です。
1:21:47	ちょっとカミデのプラスを使うときに何か。
1:21:51	追加で説明するようなことがあれば、トラフという項目出しはきちんとした上で、向上会とやっぱこういうことで、
1:22:03	というような形で
1:22:05	どういうものが、施設全体でというものがあるかというのは、第1回示してください。
1:22:12	はい。
1:22:18	日本原燃の高橋です。トラスよそんつきまして、かしこまりました。現状の記載でははり要素の説明の中に当たらせようとしても含まれるというふうにしております。
1:22:31	わかりました。
1:22:34	ないということであれば私のほうでまた先行事例。
1:22:42	各真似オープンについては、4ページは本当に簡単に触れられているだけなの。それについても、先行の説明を見て完売方というのを品等本文と、
1:22:58	示した上で、その展開核種されるという形になるように、本番の記載の充実。
1:23:09	日本原燃の高橋です。かしこまりました。人浮き上がりを考慮しているなどと言った各建屋を漏らした共通的な条件について、本文のほうにも記載させていただきます。
1:23:20	あと退職の場合は基礎スラブの話をしてますけど、先ほどあった重油タンク、
1:23:29	今日もあるので、そういった構造に対してコンピューターとしていますような特徴的な考え方なんかも
1:23:38	はい。
1:23:40	今回、本文側に記載すべき。
1:23:43	そういう、それを
1:23:45	資料10、
1:23:51	日本原燃かしこまりました。今お話ありました24日につきましては、こちら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:58	いろんなによって計算、計算しているため、こちらのA3のほうには記載しておりませんでした。
1:24:08	委員長からそれだけでは少しくわからないですね、理論解で何を計算してどういう結果が得られることからしますというような話は、本文番。
1:24:20	ので。
1:24:26	尊厳とか、かしこまりました。そのような記載を追記いたします。
1:24:32	設計
1:24:33	規制庁終わったら、
1:24:40	ハバサキですね、本店と費用だけ。
1:24:45	なっております。
1:24:50	まず9、
1:24:53	3ページ、これも家庭
1:24:59	KLabの毒島ですけども、
1:25:03	モデルの説明の中で10%の物価の平面図だけでなく、
1:25:12	要望前方の
1:25:15	本資料になっている断面についても御説明がずっとですね、
1:25:24	情報が出てますので、
1:25:26	こちらの施設に関しても、断面についても影響は
1:25:31	モデル化範囲についての説明を求めたいと思います。
1:25:39	f本件タカハンです。モデルにつきましては整理をすると梁要素、
1:25:46	日本原燃裏返しでございます。承知いたしました。ええとシェル要素で広げたいんですけども、A断面的に基礎がどこからどこまでを精度で平場で多分モデル化したということがわかるようにお示ししたいと思います。
1:26:01	おっしゃる通りでございます。はい。
1:26:04	それから、次はですね、ちょっと住宅ローンながらなんですけれども、
1:26:08	建屋の基礎スラブ程度先ほどらい話があったように多分なってマエダたためであったり、或いは上部からの柱が増えた分も
1:26:22	境界条件タイプというふうに考えますが、
1:26:26	二目それから柱部一般についての考え方、それについて今説明がないんですが、この辺りはどういうふうを考えられ、
1:26:41	日本原燃の高橋です。お答えいたします。こちらはり要素でモデル化したものについてはへの対処にその三つあって、
1:26:49	ただし、
1:26:50	のみとなっております。独立場所につきましては、
1:26:56	現状得てモデル化しておりませんが、こちらにつきましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:27:01	内の充実化を図りたいと思います。
1:27:05	規制庁のハバサキですけれども、かなり高めの入って三つの状況もってというのが、経費も説明あったかと思しますので、
1:27:16	基本的には同評価フローなんですけれども、今回壁をモデル化しなくてもよいという理由を含めてですね、左の方ほうできたというふうに考えました。
1:27:35	日本原燃高瀬かしこまりましたヘルツ壁柱についてモデル化しなくてよいという、まだ環境へ記載いたします。
1:27:45	それとあわせてやってあと後半ですけども、廃校脱退、今配当を
1:27:53	阿部の位置で開けてるところと、
1:27:56	もしくは床開口あるけれども、無視している、或いは壁厚を評価でやっているような、いろんな考え方があると思うんですけども、そこら辺の扱いは、今、例えば粘土壁とどういう
1:28:13	考えて、そこら辺の仕分けがされてますでしょうか。
1:28:20	日本原燃の高瀬開校どのように考えているかということについて御説明いたします。こちらへの耐震モデル化するにあたって、なんかどっちか3回物産そのところで開口がある部分については、応力を適切に評価できるように、
1:28:37	モデル化のほかに考慮しています。ただし、例えば壁の上部にあるような指摘事項につきましては、こちら、ここの店文化要素の設定については、うるかとしては考慮しておりました。
1:28:52	構成としては考慮しております。
1:28:56	やはりですね。
1:28:58	そのような考え方、これも実用炉の適用例で言いますと、モデルの説明のところにですね、記載してますので、
1:29:10	一方ですね、
1:29:12	目の議題を踏まえたいというふうに考えます。
1:29:21	分婉タカハシええ。
1:29:23	あそこもありませんけど耐震機器内部の海溝のモデル化についての扱いについて記載を追加したいと思います。
1:29:30	川崎です。
1:29:32	それと、当センターとしては、費用とかモデルで埋め込みを考慮したグローバルコールさせますが、
1:29:41	今、基礎スラブのあれば、応力解析をする上で、
1:29:47	側面地盤ば止めるってあった。
1:29:53	日本原燃の高橋です。側面地盤ばねにつきまして、時基礎スラブの法令上は

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:00	とめものとしてモデル化していませんが、入力荷重としましては側面地盤ばねを考慮した地震応答解析結果より算出した赤字を努力していますので、解析としては側面地盤ばねの効果を得る考慮していると考えております。
1:30:18	データは、
1:30:20	ビュー口でも埋め込みがあって、現場の効力のある方ですね第一波のパターンがありますので、それぞれについて説明しますので、伝播しても、どういう考えで、
1:30:37	こちらを考慮しないと、それはまだ等でやっぱり保守性を含めて説明を今全然説明がありません。
1:30:45	今後説明を求めたいと思います。
1:30:53	日本原燃の高橋です。かしこまりました。先ほど説明した作業を含む記載のほうを追記したいと考えておりますが、いかがでしょうか。
1:31:02	出たわけですけどこれを含めてですね、
1:31:06	現状としてこのモデルの中での考え方を説明してもらえれば、
1:31:14	最後になりますけれども、一番ページのフローの中評ムラカミ一番最初の表で、
1:31:24	ミヤモト程度 35 円から
1:31:28	グラフの状態って、
1:31:30	34.3mと思いますけれども、それから、
1:31:34	最終版としても、
1:31:37	一部は 77.5m低いやっぱり困ってると思いますけれども、
1:31:42	台風は、
1:31:43	正確なんでしょうか。
1:31:55	日本原燃高瀬 77.5mという記載に関しましては、こちら一番最上階の部分のところの所とっておりますので、場所によってはご指摘の通り、一番上まで見ていない箇所もございます。
1:32:09	たわけですが、ハセガワ第 2、77.5 までの区画の壁の剛性を考慮しているの。
1:32:16	というふうに言われてしまうんですけども、やっぱりプラン等、
1:32:21	正確に対応してもらいたいと思います。もう比 77.5 まで壁がないってたら、これは何で立派なとこ、
1:32:33	ここは非常にアバウトという読みましたねとの方だという。
1:32:42	日本原燃の高橋です。カスタマイズは記載の適正化図りたいと思います。
1:32:48	規制庁川崎です。あと、ちょっとこれ括弧の資料に直接関係ないかもしれませんが、確認だけですけれども、
1:32:56	ご夫妻で許可不キョウダ蓋をしますというふうに出したかったんですが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:05	今、配布が本体の基礎スラブに対して弾塑性でしょ。
1:33:17	本件のタカハシです。こちら基礎スラブの解析達成解説となっております。
1:33:24	そしてハバサキですね配当プロパーの社員から変わったということで、そういう理解でよろしいですか。
1:33:41	病院でどうしてございます。すいません。ハバサキさんのおっしゃってる許可の段階っていうのは、
1:33:47	申請書、
1:33:49	の
1:33:50	申請書の中のちょっと補正という意味合いでしょうか。
1:33:55	タマザキ許可申請書の／。
1:33:59	他変更点という形で評価表の形でまとめられて、一つはナカガワと同様に
1:34:11	ちゃんとデータを言うなよ。
1:34:20	日本に当初ございます。
1:34:23	これ審査会合の中で、今後の
1:34:28	取り組みみたいな位置付けの資料をちょっと資料が少し無償で私、今、
1:34:35	この資料を指しているのかちょっとわからないところで申し訳ございません。もしそういった文字の記載があったとしますと基本的に弾塑性項目につきましては幕府ではなくて弾性解析のほうを実施してございます。
1:34:50	ただ再処理施設になって参りますと弾塑性解析を実施しているところもござい ますので、
1:34:57	その部分として、弾塑性というような最初にも意識したところの総合的な位置 付けで、補正というような
1:35:05	自分が主体として、
1:35:07	あった。
1:35:08	お知らせ申し上げますと、そこは少し事実確認のほうを実施いたしましてお答 えできるんです。
1:35:15	ハバサキてる今日日程としては、
1:35:19	確認を発足してそれは安定化しているということで理解しました。
1:35:29	私から。
1:35:36	それと、ここに規制等を行っております。
1:35:42	規制庁モリノです。1点だけ確認させてサインですけれども通しページの4ペ ージのまた書きのところで、
1:35:51	地盤の相互作用屋上部構造物による拘束効果と実態に沿って設定することで っていうところがあるんですけど、と上部構造物の拘束効果との実態に沿って

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いってところなんですけれど先ほどハバサキから飛んその時開口部とか、 そういうとか、
1:36:08	耐震兵器のとこどうとかが該当するかどうかはいるんですけど、この中実 態っていうのは、それ以外に何行かにも要素があるんですかっていうのを確認 したいんですか。
1:36:23	高橋です。
1:36:33	ハバサキ様にご説明しました開校条件体積比位置など、
1:36:38	以外には特にございません。
1:36:42	わかりました。
1:36:56	ちょっとそこはよろしいですか。
1:37:00	よろしければ次、また最初のグループをいたします。
1:37:08	はい。表現トガシです。
1:37:10	資料番号といたしましては建物の耐震の10億提出日といたしましては2月9 日しようねといたしました地震荷重の入力方向になってございます補償のほう の資料の位置付けといたしましては、先ほど来ありますFEM解析モデルにお きまして、
1:37:25	各濃度に対して、1審地震荷重対象入力して参りますけれども、その際の入 力方法といったところを記載さして
1:37:35	できるといったところで、申請書におけます荷重の考慮の部分の、実際にどの ようなものを設定入力しているのかといったところを説明する資料という位置 付けのもとで御用意している資料という位置付けだと思います。以上です。
1:37:52	設定です。
1:37:56	基本的にエビデンス的なものとして、
1:37:59	ですけれども、
1:38:00	まず資料の構成でいうと、これも本部別紙で分かれているし、前ですか。これ はをもって棒に誇れるについての考え方とか、市の方、ほとんど書いてある。
1:38:17	というような形で不適な部分については、まず、
1:38:22	そういうような形で資料を見せられるということで、
1:38:36	日本原電のスガワラでございます。先ほどの資料と同様の考え方だと思いま すので、こちらにつきましても共通の方に展開できる部分につきましては本文 側のほうに記載するようにいたしたいと思います。
1:38:51	設置許可ベースやっぱり
1:38:53	これ今回の地震荷重の入力方法っていう形で説明ば
1:39:01	基本設計方針と地震荷重以外にも固定化実績、それと積雪の荷重とかです ね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:10	ほかにも荷重があるんですけど、それが入力方法は、この資料で説明されているような説明されるのか。
1:39:25	本件のタカハシです。お答えいたします。まず添付の耐震計算書んでええと。
1:39:32	各科授乳候補を記載しております。そのうちへの地震活動についてはここだけではわからない箇所もあるため、本資料 2 ページと補足説明していくということになります。
1:39:46	やっぱり定数を見ましようイトウ経産省読めば、地震荷重以外は説明が尽くされているということをいっばいしましたので、経産省アクセスの図面のほうは、
1:40:06	で、
1:40:07	それで、ほかに地震後に判定するんですけど、炉圧ですとかやっているとか、
1:40:15	炉圧も地震時増分と、
1:40:18	そういった荷重の考え方っていうのは、
1:40:24	ここでは説明がないようです。説明いただけます。
1:40:32	本件に書かせてそちらにドアと浮力伝播しても、耐震計算書のほうに伝えられております。
1:40:41	はい。
1:40:44	私のところ、
1:40:48	規制庁、
1:40:49	はい。
1:41:15	ちょっとヶ月後もう 1 点。
1:41:17	10 ページ。
1:41:20	など、なんですけど。
1:41:23	反力の矢印が 3 方向、
1:41:28	表示されてるような形がどうms方法。
1:41:32	3 評価、これは、
1:41:35	3 方向同時 10Pa入力されているということです。
1:41:42	根源タカハシです。こちらにつきまして、安全に各整備冷却塔につきましては、と上部構造を三次元でモデルでモデル化してさ、その解析結果をスラブに入力しております。このため検層報告圧損自身も、
1:41:58	微小ながら／EW方向についても動力発生しております。
1:42:06	わかりました。NS／想定EW方向も出てくるので。それを本番みたいで割ってますけども、一緒に当然出ているということで、
1:42:21	本件高さ設定その通りでございます。
1:42:24	そういった考え方も少し限り係数説明してリピーターたっていますので、
1:42:38	本件た仮設かしこまりました。実際の構築いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:48	それ貯金ですけど、ちょっと確認なんですけど、導通についての記載はしてここ計算書のほうですが、
1:43:00	込まれたんですけども、各級相当の方でどうやっている考え方を説明しているので、ここではございませんので、そういう説明だったといたします。
1:43:13	本件タカハシ性とその通りでございます。
1:43:19	そうですね、この大津の本部公務ソフトの項目ですとする共通の考え方として説明がされていると思うんですけども、
1:43:29	ここのところの位置付けコストコ共通するものの坑道掘削、交付申請も含めて行動するものについて説明するという趣旨のところに戻って交通網他のPOSで説明をしたほうが良いと思うんですけど。
1:43:52	本件にタカハシですね貸し込み作動つうの記載に炉圧に関しましても同じような記載。
1:43:58	この資料を作成したいと思います。
1:44:05	こっちのプロジェクトです。
1:44:13	よろしいでしょうか。
1:44:16	はい。
1:44:18	続いてハバサキです。先ほど報告条件のことを話したんですけども、この資料の24ページ5ページいただきますと、今ファンヒーターの鉄塔から下流の
1:44:33	一つわかつちやうけれども、それから端だってこれはいずれも多分とか荷重がないということだと思いますので、そこら辺きちんと説明をさせていただきたいと。
1:44:48	うん。
1:44:50	じゃあ、
1:44:55	文献のタカハシです。こちら別表の現在モデル化しているものを使って上部工等の耐震機器。
1:45:02	のみとなっておりますので、そのところの入力を記載しております。
1:45:09	以上です。すいません、それはわかって、
1:45:13	時壁とか柱からは、荷重の伝達を考慮していないんですけども、くださいということで、
1:45:22	日本でどうしてございます。先ほどいただきましたの拘束条件のところでの柱、壁の取り扱いといったところがございまして、入力に対しての同様な形のところで現象を考慮していないというふうにつきまして、合わせて
1:45:37	当該資料のほうでわかるような形のほうで記載させていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:43	はい、お願いします。
1:45:51	こういうことです。
1:45:53	規制庁の土野です。先ほどの予定でございます。導体の説明追加しますっていうふうにおっしゃられたんですけども、それに限定してちょっと先行サイトの方にいただいてですね、共通事項として、ここで説明することがあれば、それについても前回お願いしたいと思います。
1:46:13	本件とかですかしこまりました共通事項についてを展開するようにします。
1:46:21	規制庁、古作です。今の点で、
1:46:27	特にオオクボさんでございます。
1:46:29	はい。
1:46:30	先行例で出してるものが同じようにはできないっていうところが散見されるというふうに、各担当から聞いてまして、
1:46:41	を作成ホースで何か勘違いされてるんじゃないかと思ってください。
1:46:45	今日のヒアリングさしてと申し上げたそういう背景があって、
1:46:49	どうぞ。
1:46:51	どうぞ。
1:46:52	どうなってますか。
1:46:55	先方であるものはつけだと思われている人がいるわけです。
1:47:00	ことなんですけど、先行例通り 2. としての資料作ると。
1:47:05	いうことで、
1:47:08	やっているんですが、私の認識と、こちらはあって、
1:47:15	日本原燃大久保でございます。ちょっと補足説明資料の作成としては先行の発電所の事例も確認した上で、同じようなものを作る必要が
1:47:28	あれば同じようなものを作るっていう、同じだから要らないっていうふうな認識ではない。
1:47:37	そうです。そこが今のところの論点がずれ分布話題になってくれて、
1:47:44	はい。
1:47:46	一同、
1:47:48	確認をしてください。
1:47:50	わかりましたが、まずそれが無いんですけど。
1:47:53	そもそも効率的に精査しましょうといった趣旨と、
1:47:57	リスクなので。
1:47:59	こちらの対応としても、
1:48:01	ですよ。
1:48:04	保険でオオクボでございます。一つました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:08	規制庁、古作です。よろしくお願いします。
1:48:17	ここでよろしいですか。
1:48:20	よろしければですね先ほど5番のように、
1:48:26	飛ばさせていただいてた
1:48:30	弾塑性田舎っていう話。
1:48:32	資料なんですけど、確認しまして、
1:48:37	整備資料の七条の整備費用の中で耐震の補足説明資料、
1:48:45	さらに参考として法務との比較みたいな、
1:48:49	資料がある中でそういう記載があったということになって、その点、確認いただいて、また迅速に連絡いただければと思います。
1:49:03	本年度償還予定いたしました。
1:49:09	それでは、次の資料採取しても、
1:49:14	17
1:49:15	はい。
1:49:16	説明を
1:49:19	はい、日本のトガシですね、資料番号といたしましては、耐震建物の17ページ数メガといたしましては2月9日火道内といたしましては建物構築物の耐震評価における組み合わせ係数法手遅れについてでございます。
1:49:33	当社の
1:49:36	今現状の申請書といたしましては水平と鉛直方向を組み合わせる際につきましては、JEAG等の記載なんかを参考にいたしまして、組み合わせ係数法を用いて評価のほうを実施してもらって、その際の組み合わせケースといたしましては、
1:49:51	1.0と0.4の係数を用いたと思いますけれども放置しているところがございます。またこちらのほうの事項といたしましては当然時刻歴との組み合わせといったところも組み合わせの仕方としてはございますので、現状当社のほうで実施している組み合わせ係数法の
1:50:09	適用性についての確認という位置付けのもとで、先行電力さんの方たちのほうで時刻歴との組み合わせの比較のほうを実施いたしまして組み合わせ方法の適用性について確認を実施したという資料になってございます。
1:50:24	説明は以上です。
1:50:29	きちっと見る上では設定カプロ20個。
1:50:37	規制庁キシノです。
1:50:40	幾つか確認させてください。資料の7ページ、8ページ。
1:50:45	今回、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:50:47	考え方も、
1:50:49	流れがグローブ恐れますけれども、広報の人ぽんぽんぽんと、今度は伊方の違い。
1:50:57	はい。
1:50:58	ちょっとフローの中で条件設定が妥当かどうかわからない。
1:51:03	当方も後ろで別紙 1 ということで示されている一つのこの検討結果と思う。
1:51:10	そうでないと思われる箇所ありますと、
1:51:13	今回の検討の流れがちゃんと合理的で妥当なものになっているということについてはきちんと説明していただきたいと思っています。御トイレ生きておりますけれども、
1:51:25	7 ページ。
1:51:26	ドーズ生きていきますと、
1:51:30	一つ目のとこでいいですかって、
1:51:33	全員になると、五つ目の後、三つ目のほうでもどんどん進めていただければと思うんですけど、先方も遊んできてですね。
1:51:45	二つ目の箱で通りだとか、
1:51:48	いつも通り 1 のホテルもここで結構です。
1:51:52	検討する。
1:51:53	はい。
1:51:54	今回段波に本店のですね。
1:51:59	流れているので、
1:52:01	トーク
1:52:03	7 ページ、8 ページ、それでもその中でですね、注記の
1:52:09	もしも 1 とか 234 っていう
1:52:12	あります、例えば下の方。
1:52:14	フロー図の下のほうですと言っとう星の 1 っていうのは、
1:52:20	基準地震動、停止時シリーズ費それぞれ接地圧が最も大きいものとして検討。
1:52:28	ある意味でして、
1:52:29	※3 だと静水固化に対するというつもりで説明が 10 分についての検討かと思えます。
1:52:36	ぜひの分類とSsパック心配崩落した点等、
1:52:41	はい。
1:52:42	できれば、四つ目のボックスの中で、この星の 1 と 3 と 4 インチされてるんですけど、これ競合する部分で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:51	売れて同時に提供できるのでしょうか。
1:52:54	そういったこともありますし、
1:52:57	7 ページの
1:52:59	フロー図見たら三つ設置設備リースも入れてですね、はっきり説明出てくる。
1:53:07	と思います。
1:53:09	これについても今引き続き確認をしませんって。
1:53:13	そこら辺すべて
1:53:16	或いは先行サイトで
1:53:19	条件設定の妥当性と。
1:53:23	ありますので、きちんと説明していただきたいと思いますが、
1:53:27	よろしいですか。
1:53:29	日本原燃の北村です。人いたしましてスピーディー今終わりました御意見につきましては、先行サイトのほうの苦労と確認しまして、今回の評価と即したのものになっているのかというものについては改めて確認させていただきます。以上です。
1:53:46	ラックセルすいません。
1:53:52	具体的には、
1:53:53	入ってるって書いて採血していただければと思うんですけど。
1:53:59	今の回答ぶりがちょっと経緯があってですね。
1:54:02	電力の先行事例としてどう説明資料をつくって説明したSDPのはずで、
1:54:11	それを踏まえて作っていただいて、
1:54:13	そうであれば違いはわかった。
1:54:16	なぜ違って説明をしてるのかっていう犬を大学でも説明できるはずなんですけど。
1:54:24	なんで今見て考えて整理をしていきますという回答したんですか。
1:54:35	はい。人間の蓋がですね御回答いたします。別ですね、フロー図につきましては、ちょっと時実際の評価と異なるっていうものは、っていうのがありまして一つ目の指摘にありました。7 ページ目になりますけども、接地圧の影響検討っていうもの
1:54:53	と、あと基礎スラブによる検討というものが先行で同時で英語言っているで同時の平行の検討というものがありますけども、傾斜の検討におきましても同様の検討ですのでちょっとこちらに関しましてはちょっとフロー図のほうに記載に間違いがありました。
1:55:11	そのほかについてもちょっと一度持ち帰らせていただいて確認させていただきます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:20	規制庁コサクです。なぜそんな状況の資料になっちゃうんですか。
1:55:25	電力の見ていますよね。
1:55:28	見てないんですか。
1:55:30	人間のキタムラですけど確認させて回っていますけども、ちょっとそこら辺の記載のほうチェック漏れがありましたので、その部分については、改めてちょっと多角的にちょっとチェックして間違いがないようにしたいと思います。失礼いたしました。以上です。
1:55:48	規制庁、古作です。クローズとかは非常に根本的なところなので、そこで見逃してましたっていうのは非常に
1:55:56	確認してるITレベルになってない状況ですから、
1:56:03	しっかりと対応していただいでですね。
1:56:09	違いのある部分は当然、ちゃんと説明。
1:56:12	できるようなものとして出していただくですし、記載として違いがないのに違ってるように思います。
1:56:19	気をつけてするとします。
1:56:24	電源が北側です承知いたしました。
1:56:28	すみません、規制庁関係です。その先行炉との違いという点について、
1:56:35	私が最初言おうと思ったのは、オオクボさんのような形で、
1:56:40	が申告作業者が操作をつけた資料を作っても、配布してないんじゃないかときちんとそういう報告に徹底、なぜそれでいいのかっていうのを根占マネジメントたちから、
1:56:56	ちゃんと確認しておいてくださいということをお伝えしようとしたんですが、時担当者の方でもきちんとチェックできていただいて、ちょっと予想が困ってるんですけども、担当された動機でのマネジメントの方も私をチェックすると。
1:57:14	それに対してちゃんとこういう違いがあるんだけど、それはこういうデータを
1:57:20	ような報告を
1:57:23	し、その報告をするような形できちんと資料。
1:57:28	どうぞ。
1:57:30	はい。
1:57:32	はい。日本原燃当初ございます。5種のこの資料につきましては、私がこの資料を確認している場所でございますので、その部分につきまして、ちょっとフロ一図等において、このほかにごございますけども、ちょっと確認できていないというのがございましたので、そちらのほうは
1:57:50	思う資料につきましては資料の確認のほうを再度ヤマグチしているつもりでございましたけども、徹底させていただいて、このようなことがないような形で対応

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	の方さしていただきたいと思います。本日の資料といたしまして申し訳ございませんでした。
1:58:03	規制庁過密あのこの資料だけじゃ、これまでヒアリングでも、どうして違うんですか、しているか。
1:58:11	全般的にそういう問題があるということ認識しては、
1:58:19	予備の同士をご趣旨理解いたしましたので、対応させていただきます。
1:58:26	規制庁コサクです。オオクボさんいらっしゃいますか。
1:58:30	排気上の行でおります。
1:58:32	一応コサクです。今の点ですね。
1:58:36	配信だけじゃないかというふうに思われる。
1:58:41	全体的に見てもですね。
1:58:44	この程度で同じだと思っというすごいだったん的な
1:58:49	判断で皆さん動いているんですけど、我々の目からすると。
1:58:55	代用として違っちゃってるっていうふうに思うことがすごい多い。
1:59:00	丁寧に説明項目考えていうのもいっぱいある。
1:59:04	改めてですね、1方位分まで含めるぐらいです。
1:59:10	並べてみてですね。
1:59:12	自分たちの説明をされてるのかっていう
1:59:15	或いはその違いを表現できる形がいい。
1:59:20	じゃないんだ。
1:59:23	ちょっと、
1:59:26	一つ一つ潰し込みをするという作業をまず作業者、
1:59:30	チェックしてください。
1:59:32	その状況をオオクボさんなりが的確にアークし、
1:59:37	違ってるところっていうのは本当に違うのかどう対処すべきか。
1:59:43	いうことを議論するという一連のプロセスを改めてちゃんと作って、
1:59:48	資料提示していただきたいと思いますので、その点展開よろしく願います。
1:59:55	保険でオオクボでございます。土地ました。
2:00:02	ここですとかに設定を行う。
2:00:07	設計基準です。
2:00:09	先ほどちょっと御回答に立ち戻って、別途、7ページのフロー図の間違ひがありました。
2:00:16	御説明でした。
2:00:18	県当局双方についてちょっと具体的な例示をしなかったんですけども、それとフルード間違ひということであれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:26	上記理解できましたが、モチキですけど、別紙イノマタ 37 ページですね。
2:00:33	設置を次ページ以降検討されていて、
2:00:36	子供のときに、
2:00:40	いうふうに評価終了になると思うんですけども、38 ページ以降、豆腐貯槽梱包されているというのは、
2:00:51	接地圧にとってとスラブの入力の検討をどう構築あったらでやってるんですよということで、説明になると思います。そういう意味で、
2:01:01	キタムラです。英語いたします。そのような理解で問題ませんで一番っていると接地圧の評価と基礎の評価というものをパラで別でやっていくということになります。以上です。
2:01:15	わかりました。規制庁に来ますので、そのときは、ノないかと思われるけれども、次の評価基準で入っておるところで話して個別地域ですけど、8 ページです。
2:01:33	この 8 ページの図を見ますと、時刻的には、マックス値ですね、別途破線で示されている組み合わせ係数法行為っていう評価としてはNDっていうによりまして、この次のステップに進んでいないんですか。
2:02:12	はい。
2:02:18	関です。コントロールDとして、波線のように、先ほどレベルでポンプことと、実際の検討とにそこができるのいずれかと思うんですけども、ちょっと次の事実確認をしていただいて、
2:02:34	ちょっと
2:02:36	フローそもそもフローの流れが妥当であることの説明から来ていただけるようにしていただきたいと思います。
2:02:43	日本原燃のキタムラですけども、ちょっと御回答をさせていただきます。こちらの
2:02:50	事故システム 15 ページの結果のところになるんですけども。
2:02:55	あと 15 ページを表示していただいてよろしいでしょうかね。ええと。
2:03:00	になったときに、
2:03:04	括弧Cの表になりますけども、
2:03:07	Ss-Cシリーズのほうでそれぞれ組み合わせ係数法で最大になっているもの。
2:03:14	っていうものをここで訂正させてもらってまして、NSとEWでそれぞれSs-CさんとSs-C2 というものがそれぞれ当サイトになっていますけれども、
2:03:25	このうち先ほど時刻歴載ってましたのが、とSs-C2 になりますけども、こちらが先ほど 28 ページ目のほうに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:34	載ってます、EW方向の発生率なんですけれどもその上にNUSのパッケージも載せてはいるんですけども、こちらに関しましては特に今回ふやす珪藻で最大となるものを教徒載せてまして、
2:03:48	資料 28 ページの時刻歴につきましては、こちらは当評価と関係ないんですけども一応NSとEW参考として載せさせていただいているということで、この説明上の評価とはフロー。まあ先ほどのフローの中では一応ここで1回評価はあるんですけどもちょっとはつきりず、
2:04:08	これは参考として載せて載せさせていただいておりますその部分で多少、
2:04:13	ちょっと逆転ができていくということになります。以上です。
2:04:20	鈴木です。そうしますと、これは 28 ページにイメージっていうのは、ちょっと右の一番のことを報告を持ってこないという扱いになるわけです。
2:04:35	日本原燃のキタムラで性回答させていただきます。また全体的な傾向としまして等、こちらのほうの評価として載せるルールいただいているのはこの災害として、代表として載せていただいているということで、
2:04:50	おっしゃる通りちょっとそういう。
2:04:54	多少細かく見ると、多少時刻歴のほうが大きくなっている部分もありますけども、それにつきましては大体と概ね同等であるという判断から、これフロー終わりにしております。以上です。
2:05:10	本ここの方それも先ほどの今後の説明の中に盛り込んでいただいて、別途結果と照らして基準があり、屋内設置していただきたいと思います。
2:05:25	名キタムラで処理いたしました。
2:05:30	結局Cです。あともう一つ、6 ページですね、コンバーターの説明の文章がありますけれども、
2:05:40	耐震壁についてはっていう、一番下のパラグラフで、
2:05:44	うん設計地震動SDとして実施する。
2:05:47	報告してるんですが、
2:05:51	Ⅲとして実施するというっていうのは何でしょう。
2:05:57	日本原燃期間がですね回答させていただきます。当貸新駅につきましては、基本的にベースでの評価において組み合わせ係数を用いた応力評価を行っております、それを本資料で適用性確認しております。一方でSsにつきましては、耐震機器につきましてはそうして 2000 マイクロ以内で評価しておりますので、組み合わせ係数法を用いております。
2:06:17	なので、本資料ではSsの結果、日Ssとしての組み合わせ係数法の適用性というものを載せていないということになっております。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:29	一方起こりますと、ちょっと私もそういう確認も6CPUとびあの耐震計算書のほうで国税のレポート等耐震壁についてですねというふうに両方で
2:06:45	報告していたと記憶しているんですが、
2:06:49	であれば出資率。
2:06:52	合理的でないとなっていたんですよ。私の認識ということでしょう。
2:06:58	日本原燃の北川です。そちらに円筒耐震につきましては、あくまでもSsについてはそうして2000マイクロ以内ということで、重要区域の下部についても2000マイクロ以内ということで、Ssに対しては健全性があると。
2:07:13	ということで評価しております。あんだ地域につきましてはおっしゃる通りですクラスとして生成どちらの評価も行っております。以上です。
2:07:22	日本原燃の相馬です。今の点ちょっと補足させていただきますと、その耐震計算書のほうではですね、WestSDの評価をやっているんですけども、オフィスSの方がそもそも組み合わせ係数法が関わる方向で評価をしていないということで、こちらの
2:07:42	この説明資料の対象になっていないということでございます。
2:07:49	積極するですとイトウそこら本郷とこ再度置く耐震計算書の内容をしています。
2:07:57	累損に対して実施することってということについては、もう少し説明報告し、一方、全般的にですね、推薦候補材っていう観点でちょっと検討の想定地震も先方も官房ことについても、
2:08:14	先行サイトの最後に6000持っていますのでそれがあれば、その考え方を
2:08:21	追加していただきたいと思います。
2:08:25	日本原燃のキタムラです承知いたしました。
2:08:33	規制庁ベース一つすみません、ちょっと
2:08:37	はい、どうぞ。今のSDの件なんですけれどもそのSsとSDで評価の仕方書いてるってところ聞いてはきちっと説明していただきたいと思います。
2:08:47	認めちょっと発想でやってるって話もですねそれ本当に妥当かどうかというところまで達していないので、タジリについてSs手続きで評価替えているという気はちょっと説明していただきたいと思いますが、いただきます。
2:09:04	日本原燃のオガセです。今の件御説明いたします。こちらの評価の図イトウそれに対してSsとSDそれらに対してどうのような局所評価をするのかそうレベルでの評価をするのか、そういったところの考え方につきましては、本日の資料ではないんですけども、建物構築物の耐震設計の網羅性であるとか近活のその意見という資料。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:24	の方のヒアリング資料からございましてそちらのほうでの御説明の内容になっております。その資料の中ではですね先行プラントでの実績でありますとか、その部位に応じて求められる要求機能でありますとかそういったような整理した上でどういう評価を実施するかというところを整理しておりますのでちょっとそちらのほうの記載のほう充実するような形もしくは
2:09:43	今の内容で説明できるかというところをきちんと確認させていただきまして回答のほうでさせていただきたいと思います。以上です。
2:09:50	清塚です了解しました。以上です。
2:09:57	規制庁、古作ですけど、ちょっと今の点で、
2:10:00	はい。
2:10:01	繰り返しになって申し訳ないんですけど、
2:10:04	網羅性の説明資料って。
2:10:09	はい。
2:10:10	論点がここですよとかっていう説明資料に最終的に類型化をして、
2:10:18	説明資料として整えていくっていう断面によってはモデル化の説明の資料だったり、条件設定の資料だったりっていう、それぞれの中で明確にしていく必要があるんじゃないかということで、指定
2:10:33	今の評価方法であれば、
2:10:36	次の関係でも評価の基本方針の説明だったりっていうところにそれぞれ埋め込まれるっていうこともあるんじゃないか。
2:10:44	うんですけど、そういう点では、SsとSDの違いとかっていうのは5辺りになるというふうに思います。
2:10:56	日本原燃のアセスただいまの件回答させていただきます。基本的な考え方といたしましてはSDSsでそれぞれどういう評価をするかっていうのは、先ほどオガセの資料ということも言いましたけれども耐震設計の基本方針のほうに記載されているというふうな認識でおります。
2:11:12	それぞれの計算書につきまして耐震計算書につきましては、それらの耐震設計の基本方針を読み込んでおりますので、それはとそごのないような評価をやっている。またその内容につきましても、今申し上げました耐震設計の基本方針に書いているというところでございますので、その辺りにつきましては資料の立て付け上ですけれども、
2:11:31	そこのないような作りをしているというところでございます。以上です。
2:11:41	それぞれの論内容に応じた補足説明資料見れば、
2:11:46	使い分けっていうのがわかる。
2:11:48	今後網羅性の説明とかに合わせてみて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:11:54	全体的っていうことも話ができると思っていいです。
2:12:02	日本原燃の先生おっしゃる通りの認識かと思います。
2:12:07	規制庁わかりました。
2:12:13	規制庁きちんとですね、そういうふうに思ってますけども、41 ページに別紙についての検討結果について耐震
2:12:25	昨日の結果について、
2:12:27	出ますEXCELので全部現場の説明でも、
2:12:32	取引についてやりますっていう説明なんですが、ページ原料も帝国ホテルの中で、この対象絞り込んでいて、一生懸命ポリシートでプラス変位を
2:12:50	重要度耐震壁として、この重力域というものがある聞いても含まれてるということで理解しておりますけれども、
2:12:59	前弁は投資のぜひについてに対してですね、これも重力域の壁PP系統パブリックにするといいましょうか、そういう形になっていますので、これについてはですね、粒径の説明をいただきたいと思います。
2:13:16	1 点。
2:13:23	逆に当初ございます。今おキシノ様のおっしゃる通りで、基本的にSクラスでございます。重要区域の壁につきまして局所評価として、SDの組み合わせのほうかええと水平と鉛直の組み合わせのほうが生じて参りますので、ですのでここでの組み合わせ係数法の妥当性の確認といたしましては、Sクラス設備でございます。
2:13:42	今回の燃料加工建屋におきましては重要区域の壁が対象となって参りますのでその部分を記載させていただいているところがございますので、その部分のICT平滑その収容区域としまして、5 日付であるのでその部分の組み合わせ係数法の妥当性についていたところが、
2:14:00	123 或いは私の方で修文させていただきたいと思います。よろしく願います。
2:14:07	はい。そういう流れが繋がるような形で御説明こうやっていただければと思います。規制庁市立フチノ以上です。
2:14:21	規制庁カミデですとかに規制庁側からありますでしょうか。
2:14:26	規制庁川崎です。
2:14:29	この資料もちょっと位置付け事実確認をしたいんですけども、
2:14:40	17 ページ以降、
2:14:42	という
2:14:45	ごめんなさい、9 ページ以降、要は等踏まえ通報表 6F-Aプロジェクト接待決着を比較して組み合わせ係数法があるという主要ああいってるんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:02	これ今冷却ソフトⅣ僕だけ人例えばについてこういうことを言ってるんです。一方で、
2:15:14	地体構造出てくる施設に対して含めて、
2:15:17	同じようなことをやるんでしょうか。それとも、あくまでもこれは代表例ということで、
2:15:22	なるほど。
2:15:24	何でしょう。
2:15:26	現在のキタムラです回答させていただきます。工事期間以降につきましても評価AAにつきましても、今回示させていただいたものと同様ですけれども、設置後部分とあと基礎の部分とあとはSクラスの耐震設計の部分になっております。以上です。
2:15:44	じゃあだけ了解しましたねと、次回議題以降はずの核の施設が示される中で、それと同じような検討をするということで理解しました。
2:15:57	私から。
2:16:07	ちょっとカミデで結構あります。
2:16:13	別途のタケダですからもう1点だけ確認させていただきたいんですけど。
2:16:19	ペンキ緑、
2:16:21	評価の評価対象部分及び検討方針というものがあります。
2:16:29	通報及び同方向の送信方向のみに対応するものってあるとか行うというふうになっていると。
2:16:41	例えば、
2:16:43	40 ページ目。
2:16:44	安全冷却流量書くと、
2:16:49	監視の検討の中で、
2:16:51	100 から。
2:16:53	5 行目です。
2:16:55	これを確認しますと、
2:16:58	対応教育力のほうに 0.4 向上した。
2:17:02	ということから、安定する。
2:17:05	次のページの 13 ページ目のフロー図でも、
2:17:09	外来転倒モーメントには 1.0 と
2:17:13	横方向としては 0.
2:17:17	行うというふうになっていて、①②両方やってるようには見えないけど、これは保守と検討内容、ここは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:28	電源のキタムラです。ご回答させていただきますと、基本的に接地圧につきましては、上部構造からの転倒モーメントが大きく、鉛直の影響は小さいということで、今回はそこら辺の考えのもとで、営推で1鉛直0.4-Aのみの結果を掲載させていただいております。以上です。
2:17:50	わかりました。やっぱ確認する確立したわけではあって、それはやっているという。
2:17:59	はい、江藤タニグチのキタムラです。ちょっとそういう考えのもとでやっているということです。はい。以上です。
2:18:08	わかりました。こっちはまあ、その内容はそういう理解ということで、ノ方針とは、
2:18:16	追い出す結構行っていくということはわかるように記載いたします。カミデのキタムラです。承知いたしました。
2:18:24	規制庁ハバサキなんですけども、スピーカーって何かやはり比較で、今の考え方で問題ないと。
2:18:34	例えばこういった以降、上位浮上がりスピーカー小さいような
2:18:40	ありえるC、ちょっと公募によって結構いろいろバリエーションのある方もcpmは大きく回答すべき所共通化という
2:18:52	そういう考えでしょうか。
2:19:00	日本原燃の北原です。これお答えいたします。来次回、次回以降についても今回と同じ方針で検討する予定であります。以上です。
2:19:13	規制庁幅だけの現段階では、国体以降の各施設の応答特性というのは、まだ我々持ってないでも、今言った許容しては、やはり本当にそれでいいのかどうかという。
2:19:27	私から言うと思います。
2:19:39	えっとかです。一方よろしいですか。
2:19:45	よろしければ、
2:19:49	事業者側からスケジュール等の説明は必要ですか。
2:20:07	カミデ日本原燃てます。
2:20:21	規制庁ポンプベース電源。
2:20:25	もしくはほかの
2:20:28	いつも出ることをこちらのほうは出ます。
2:20:45	今ちょっと動く見通しが悪いようですけど、こちらの報告を受けます。
2:20:51	日本原燃の久保でございます。聞こえております。
2:20:54	当機構から聞こえてました。
2:20:58	今カミデさんの御発言から聞こえてましたですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:06	この資料、特になければ、あと、
2:21:09	現状の説明があるのかなと思っているということです。
2:21:24	はい、2行目にどうしようと思います。スケジュール関連について御説明いたします。
2:21:33	はい、よろしくお願いします。
2:21:40	耐震関係といたしまして、本日まで実施しているというふうな内容に関しまして、今後の使用状況も含めて改定した資料のほうの検討を出しているという状況になってございます。
2:21:56	来週、
2:21:58	の部分につきましては、
2:22:03	私の検討等ですね、資料のほうを昨日出させていただいてございますので、こちらのほうの対応のほうを進めていくということでございます。3月に入りまして特に論点でございます地盤のモデルであったり、液状化関連の方を準備を説明するというような
2:22:21	形になってございますので、そちらのほうのコメントを反映いたしまして資料の充実のほうを現在図ったものを出しているというところでございますので、こちらのほうの内容を踏まえまして、時次回以降になるかもしれませんが、会合等の中でですね。
2:22:38	我々のほうの考え方のほうをロジックデータについて御説明していくところを今念頭に置いて各ヒアリング対応の方も含めるというような状況でございます。
2:22:49	スケジュールといたしましたけれどもございます。行目の項でございます。あとちよっとすみません体裁的なところで補足させていただきます。
2:22:58	資料番号ですね、このスケジュールも項目の前に入れるようにしました。それからスケジュールの関係諸1月のカレンダーの部分が削除されておりました、1月に資料提出したものが、どうも資料が提出されたのか。
2:23:17	このスケジュール上ではわからなくなってしまうということもありますのでありまして、項目ほう右側り試料の採集提出日という欄をつけまして、1月に提出したのもコーヒーにこの資料が提出されていますということがわかるように明示的ました。
2:23:34	スケジュール的な話して
2:23:38	発電炉との比較を行う資料とちつ耐震設計の方針のところですね、これをそれぞれの項目で全部ばらした形でありますけれども、これを

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:53	日本に来ていました 2 月 18 日にこの記載方針についてどういうふうにするかという御説明をさせていただきます。それを踏まえて、この耐震設計のほうでも全停時の方針に従って資料を提出させていただくと。
2:24:10	ということでスケジューリングしてございます。そこは以上でございます。
2:24:18	先ほどとかしたところで 3 月に入ってその論点番組を指導、
2:24:29	このスケジュール状況の別を見ていくわけです。
2:24:35	Pa 状態の話が論点、論点のペーパーに関しましては、こちらのほうの資料の
2:24:53	想定論点のみにつきましては現在一応社内の方で今用とまとめているところでございますので、こちらのほうは先ほどのありましたものが一番のほうに、
2:25:08	合わせるのではなくてもう少し先の段階の 1 月末にはですね、こちらのほうの論点の今ございます地盤モデル及び液状化後は局面あんまりにつきましては 2 月末ぐらいにですね、検討も当社の整理という位置付けのところ再度お出ししたいというふうに考えているものでございます。
2:25:26	あともういただいているコメントの
2:25:31	各液状化であったり地盤モデルの設定等につきましてはこちらのほうのスケジュールにこった形のほうでいただいたコメントのところも資料を充実したものをこちらの資料の
2:25:42	基準のほうで測定補填するといったところで今進めてございます。
2:25:47	またです。
2:25:49	よろしければ、そこは各社のほうの資料には期待できるものでございませぬ。
2:25:55	規制庁、そうすると、2 月末に
2:25:59	資料というのでヒアリングをするのは、今日付が入ってんの 3 で、そこでやはりといった、
2:26:10	撤回しますが、よろしいですか。
2:26:14	ロジックデータに関しましては 2 月末のほうに付させていただきました、3 月、今ほどかじめさんのお話になったところで一度当社ないし見直した部分につきましてご説明させていただきたいというふうに考えておりますのでよろしく願いいたします。
2:26:30	今日も悲しいっていうと、その後の扱っていうのをきちっと整理したって、
2:26:37	ということですけど、それはもう同じようなことで整理した。
2:26:45	日本原燃通してございます。ちょっと道路の部分につきまして、
2:26:53	要求機能の整理とですね、これに基づきましてその耐震クラスの部分等が一番のいつクラス数に対しまして屋外今主要動の構造規模とかですね設計だけの放置しているところでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:09	こちらのほうにつきまして、建物構築物等、取り出さないんですね、どのような評価を実施していくべきなのかっていったところに関しましてはちょっとこれ、時間の方いただいて整理しないといけないなと言ったところになってございますので、
2:27:25	こちらのほうにつきましては先ほど申し上げた部分の2月末ではなくてですね、もう少しお時間をいただいて、
2:27:35	当社のほうで整理したロジックのほうでお出ししたいと思いますのでこちらのほうは3月に入ってから御提示するという形のほうで今、
2:27:43	現状考えているところでございます。
2:27:47	今日規模のスケジュールとしてはそういう
2:27:52	いうことで実行しました。
2:27:56	あとは一体何か75億補足説明資料の1件増えてこれを別途行ったものではなくずっと続きまして、
2:28:14	飛来物防護ネットの耐震評価。
2:28:28	すいません少々お待ちください。
2:28:57	号車日本原電の項でございます。申し訳ございません。この内容について担当今この場におりませんでしたので確認して、別途ご連絡したいと思います。
2:29:11	規制庁基本的にもうオオクボ3レベルは、
2:29:16	この資料確認されていると思うんですね。
2:29:19	はい。
2:29:20	はい。
2:29:24	そうすると、
2:29:28	おそらく、
2:29:30	何度この内容の確認によって、
2:29:35	補足説明資料が足りない。
2:29:38	いう話です。
2:29:41	それを今まで
2:29:44	説明を受けた補足説明資料でここじゃなくて、
2:29:48	この設定の分割をされるようなものではないと思って、防護ネット
2:29:55	そういう中で、
2:29:57	ものと推察して話を進めます。
2:30:01	どんどんやっぱの補足説明資料の説明で、この資料の説明はどこの
2:30:07	いうことを何度かお話をした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:14	そちらの他の防護ネット係ないから、追加しようみたいなんですけど、その全体として本当にこの補足説明資料で説明しているのかというのは、再度確認していただいて、
2:30:29	そのような
2:30:33	我々のほうでも確認して、この計算書、補足説明がないのは、当初、
2:30:40	大分
2:30:43	どう耐専建物はネットが、
2:30:47	わかった。
2:30:48	そういったことひとまとめてですね。
2:30:53	補足説明資料の網羅センターを
2:30:56	話を
2:30:58	はい。
2:30:59	ちょっと資料、
2:31:05	日本原燃の久保でございます。今日のヒアリングの中でもそういったご指摘をいただいておりますので、ちょっと一般の同様な形で整理するかということも含めてちょっと検討させていただきたいと思いますが、今、
2:31:21	提示させていただいている補足説明資料で／原燃側で今説明したいということが網羅的に並んでいるかどうかという確認をした上で、
2:31:33	御説明したいと思います。ちょっとあの、いつごろ御説明できるかっていうところはちょっと丁寧に検討した上でまた御連絡させていただきます。
2:31:41	規制庁、川です。
2:31:44	本来であれば、ICT建物 01 の
2:31:48	網羅性の整理、
2:31:52	を合わせてかなとも思ったんですけど、それだと。
2:31:57	3月以降のヒアリングの中では、
2:32:04	どうかという、さっきの間伐 2 は 69 番の話をしますということであればですね、
2:32:13	関連する話ですので、そこで話があって、
2:32:17	基本的にはけどいずれにしても、
2:32:21	はい。
2:32:22	持ち帰っていただいて構いませんので、
2:32:26	連絡
2:32:29	答弁でオオクボでございます処置しました。すいません先ほどご質問いただいた 70、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:37	行目の時飛来物防護ネットの耐震評価内容について、追加させていただいた補足説明資料でございますけれども、
2:32:46	ちょっと確認しました応答の評価内容については、飛来物防護ネットもう妥当性ダンパーを行動の中で使用しているところで、先行の発電所でも、その段差ダンパを使っている事例があって、
2:33:02	その補足説明資料が出ているというところをちょっと私どものほうで、そこが見逃していた部分がありまして、それを追加させて資料として追加させていただいたということでございますので、先ほど御指摘いただいたように説明すべきものか、全部並べているかという中で、
2:33:21	やっぱり抜けがないのかというところの確認はさせていただいて、御説明したいと思います。以上です。
2:33:29	／ベースがあります。
2:33:33	起こっているところ。
2:33:37	補足です。すいません今の
2:33:40	弾塑性ダンパを使っているのっていうことであれば、それはやっぱりような
2:33:47	説明していただいたほうがいいのかと。
2:33:50	いいのかどこかでダンパ使う部分あると。
2:33:56	ちょっと余計なことを考えます。
2:33:59	いただける。
2:34:03	はい。
2:34:04	日本原燃の久保でございます。今この5隻拝承いたしました。他の補足説明資料もですね、何について説明しているのかっていう項目でフィールドに漠然としていてわかりにくい部分もございますので、全体説明した上で、
2:34:20	その中で、
2:34:23	この補足説明資料のタイトルも、もう少しこういうタイトルに変えたほうがいいんじゃないかとかそういうことも含めて検討させていただきます。以上です。
2:34:39	規制庁やっぱよろしいですか。
2:34:42	日本原燃です。
2:34:45	はい。
2:34:48	屋根オオクボでございます。日本原燃からは特にございません。
2:34:52	それでは、タケダなんですけれど、1点だけ確認させていただきたいんですが、
2:34:59	2月というふうにもう2月の10日にヒアリングした内容、資料のリバイス版バージョンといたると。
2:35:11	医療と介護イベントを

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:35:14	理論値とテロップでした。
2:35:17	／全般のときに、
2:35:22	そのリバイス版持って行って思った。
2:35:25	先ほど設定しましょうみたいな形になっていたと思うんですけど、現場のスペースということで、そこは今後の検討がなさそうなんですけど、それはいつ必要いただける予定とかというふうにあると。
2:35:45	日本原燃菊地でございます。前回のヒアリングにおきまして、
2:35:50	そのリバイス版を進めて提出しますと言ったお答えさせていただいた中で、
2:35:56	その
2:35:58	質問のヒアリングの対応についてお尋ねさせていただいたところをまずは資料出して行って、
2:36:05	資料を提出させていただいて、その内容を
2:36:09	によっては必要があれば、ほかのヒアリングの場で別途内容の事実確認をするというふうな御発言がございましたので、資料提出の時期っていうところだけの記載としておりました。
2:36:29	生徒タケダ社は行った上で除外したら、
2:36:35	お伝えした上で調整ということでした。
2:36:41	規制庁上出です。そういうことでしたら、基本的に24日に何か予定はありますので今日体裁の話です。冒頭も措置の位置付けとか、そういう整理について、現場っていうのかなっていう
2:37:00	お願いしましたのでその点、もし前に修正するようなところはあるけど、正しいということですし、そこは口頭で当時説明しましたことであれば、そういったときでもここでは一応24日及びT
2:37:18	つもりで認識をしてですか。
2:37:23	この減免キクチでございます承知いたしました。
2:37:31	ちょっとそこはよろしいですか。
2:37:35	スプレイば本日載っております。
2:37:40	その下、
2:37:42	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。